

令和元年度

---

---

教育委員会事務事業等

点検評価報告書

---

---

白浜町教育委員会

# 目 次

## ■はじめに

I 趣 旨	1
II 点検評価の対象	1
III 点検評価の方法	1

## ■点検評価

白浜町の学校教育	3
I 方 針	3
II 重点目標	3
1 学校経営の確立	
2 確かな学力の育成	
3 人権教育の推進	
4 ふるさと教育の推進	
5 道徳教育の推進	
6 健康・安全教育の推進	
7 環境教育の推進	
8 情報教育の推進	
9 特別支援教育の推進	
10 生徒指導の充実	
11 進路指導・キャリア教育の充実	
12 幼児教育の充実	
III 主な施策	15
IV 指導活動	17
1 学校訪問	
2 研修活動	

## ■点検評価

白浜町の社会教育	18
I 方 針	18
II 重点目標	18
1 家庭教育の推進	
2 青少年教育の推進	
3 成人教育の推進	
4 高齢者教育の推進	
5 人権学習の推進	
6 生涯スポーツ活動の推進	
7 文化財保護と芸術文化活動の推進	
8 共育コミュニティ活動の推進	
9 公民館活動の充実	
10 児童館活動の充実	

11	図書館活動の充実	
12	青少年センター活動の充実	
13	ふれあいルーム活動の充実	
Ⅲ	主な施策	31
Ⅳ	施設	36
■資料等		
資料1	教育委員会の開催状況	38
資料2	白浜町教育委員会機構組織図	42
資料3	白浜町決算（教育関係）の状況	43

# はじめに

## I 趣旨

教育委員会は、首長から独立した合議制の組織であり、同委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務が確実に実施されることが求められています。

今日の教育が個人の明日をつくり、社会の未来をつくります。白浜町教育委員会では、明日の白浜町を担う人づくりを進めるため、本町の教育の総合的な指針となる「白浜町生涯学習基本方針」を策定し、「町民が生涯を通じて自主的な学習活動」を展開できるよう取組を推進しているところです。

このような中で、平成20年4月から施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務づけられました。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するため、白浜町教育委員会として法の趣旨に則り、町民の皆様への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」（以下「点検評価」という。）を実施し、まとめたものです。

## II 点検評価の対象

点検評価の対象は、本町の教育の総合的な方針を定めた「学校教育・社会教育の重点目標等について」に基づき、令和元年度中に実施した、又は実施する予定の主な施策・事業等としています。

## III 点検評価の方法

### 1 点検評価項目

「学校教育・社会教育の重点目標等について」に定められている項目（学校教育では12項目、社会教育では13項目）ごとに点検評価を行っています。

### 2 今年度の取組状況等

令和元年度におけるその項目の取組の状況、今後の課題等を掲げています。

### 3 評価

項目ごとに、次のAからDまでの4段階の評価を行っています。

評価	内 容
A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている。
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている。
C	一定の成果が上がっている。
D	成果が十分に上がっておらず、更なる取組若しくは抜本的な見直し又は改善が必要である。

なお、点検評価にあたっては、その客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方々のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見、ご助言をいただきました。ご意見をいただいた方々のお名前は、次のとおりです。

(50音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
牛 島 安 二	白浜町社会教育委員
菊 原 章	白浜町社会教育委員
森 田 義 利	元白浜町教育長

# 白浜町の学校教育

## I 方針

学校教育においては、心身の発達に応じて、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めることが求められている。

そのため、児童生徒に生きる力を育むことをめざして、豊かな心と健やかな体を培いながら、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、教育が充実するよう家庭や地域との連携を深めながら指導する。

〈めざす子ども像〉

- 自ら学び、自ら考える子ども
- 明るく、人間性豊かな子ども
- 心身ともにたくましい子ども

〈めざす教師像〉

- 一人ひとりを生かし育てる教師
- 楽しく魅力ある学校・学級づくりに努める教師
- 授業の工夫改善に努める教師

## II 重点目標

学校教育は、次代を担う児童生徒が、時代の変化に的確かつ柔軟に対応できる生きる力を身につけるために、その基となる確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成することを目指して、次の重点目標を掲げて取り組む。

### 1 学校経営の確立

学校の課題を全教職員が的確に把握し、一致協力した姿勢の下に、地域に開かれた特色ある学校経営の充実に努める。

#### ○ 主な取組等

- (1) 学校長の強いリーダーシップの下、その経営構想が全教職員によく理解され、学校教育目標が達成されるよう取り組む。
- (2) 各教職員が自校の教育実践の主体者であることを自覚し、教育課程全体にわたる視野を持つ。
- (3) 一人ひとりの教職員が校内における自己の職責を認識し、互いに協力しながら組織的に教育活動に取り組む。
- (4) 教員の世代交代期を迎え、ベテランの教員から若い教員へのスキル等の伝達が円滑に行えるような場を、校内研修などあらゆる機会をとらえて充実させる。
- (5) 学校評価や自己評価を行い、学校運営改善や学級経営、授業改善に努める。

- (6) コミュニティスクールや共育コミュニティ事業を推進し、地域・保護者と協働してより開かれた学校づくりをめざす。
- (7) 教科、特別の教科 道徳、特別活動、総合的な学習の時間を有機的に関連づけて、自立、共生、社会参加を促し「道徳性を育てる教育」を進める。
- (8) 授業研究・学習指導・生徒指導等において中学校区単位の小中連携を進め、小中9年間を見通した指導にあたる。
- (9) 校務支援システムを導入し、学校情報の管理を徹底するとともに、公務の効率化を図る。

今年度の取組状況等	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教職員が各校の教育実践の主体であることを意識するため、リーダー研修の充実に向けて、校長会や教頭会、教務主任者会を開催し、取組を進めた。校長会は月1回、教頭会は年間6回開催し、毎回提案発表者を決めて、各校の取組を交流し研修した。また、8月には、上富田町・すさみ町と合同でカリキュラム・マネジメントを題材にした校長・教頭合同研修会を開催した。教務主任者会では、教務主任が主体となり、4中学校区での授業研究会を企画、運営する取組を行った。それぞれで、小中連携を深める有意義な授業研究を行うことができた。また、教育センター学びの丘の指導主事を講師として招聘し、キャリア段階ごとに教職員に求められる資質・能力について講義を受け、教務主任としてのリーダー性の育成を図った。各校では、校長のリーダーシップのもと、安定した学校運営ができた。</li> <li>○ ベテラン教師から若手教師へのスキル等の伝達が円滑に行えるよう、校長会・教頭会・教務主任者会だけでなく、学校訪問等を利用して研修の充実を図ったり若手教師に経験を積ませたりする等、各校へ指導してきた。各校では、若手教師の育成が図られつつはあるが、今後も若手教師が増えてくるので、校内研修や校務分掌、日々の授業等で伝達できる機会を増やすよう継続して指導していく。</li> <li>○ 学校評価については、各校で、児童生徒、保護者等にアンケートを実施し、その結果を公表するとともに、学校経営、学級経営及び授業改善を図る手立てとして活用している。</li> <li>○ コミュニティスクールや共育コミュニティを推進し、地域や保護者と一体となって子どもたちを育む取組を推進している。各校では様々な取組が行われているが、コミュニティスクールと共育コミュニティ事業をさらに連携させながら進めていく。</li> <li>○ 教務主任者会を中心とした小中合同授業研究会、三舞中学校区での授業研究を中心とした取組、白浜中学校区での不登校対策の取組、白浜第一小学校と白浜中学校での道徳教育への取組、小中合同の避難訓練や地域清掃活動等、小中が連携した取組が進められており、授業研究・学習指導・生徒指導等において、小中9年間を見通した指導ができている。</li> <li>○ 校務支援システムを導入し、校務の効率化を図った。出欠や成績等を日々入力しておくことで、以前より短時間で指導要録やれんらくぼ・通知表の作成が行え、学期末・年度末の校務の効率化が図れている。</li> </ul>	A

## 2 確かな学力の育成

確かな学力を基盤として主体的に学ぶ力、考える力を育成する。

### ○ 主な取組等

- (1) 和歌山の授業づくり基礎・基本3か条を徹底する。
- (2) 各教科及び領域で言語活動を位置づけ、思考力・判断力・表現力を育成する。
- (3) 児童生徒の意見交流や考えを伝え合う活動を取り入れ、コミュニケーション能力向上を図る。
- (4) 教員の授業力の向上を図るため、校内研修体制を確立し、研究指定や校外研修を計画的に活用する。
- (5) ICTの活用や指導方法の工夫改善を進め、よくわかる授業を創造する。
- (6) 全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査の自校の結果を分析し、課題を明らかにして授業改善に努めるとともに、児童生徒の学力向上を図る。
- (7) 読書活動を推進するため、学校司書と連携・協力し、学校図書館の環境づくりに努める。
- (8) 読書の時間及びボランティア等による読み聞かせの時間を意図的・計画的に設定するなど、読書活動を進める。
- (9) 教育内容の充実を図るため、教育課程の実施状況の点検や、学校行事の精選を図る。

今年度の取組状況等	評価																																
<p>○ 校長会や教頭会、学校訪問等で、和歌山の授業づくり基礎・基本3か条を意識した授業づくりを行うよう指導した。これまでの取組により、めあての提示の仕方や振り返りの内容等、工夫された取組が見られるとともに取組が定着してきた。また、「白浜町教育委員会研究指定実施要綱」により、今年度は日置小学校で「算数科授業研究」の発表会、白浜中学校区で「不登校対策についての取組」の報告会を実施した。研究指定校の研究成果は、自校の課題に直結する学校も多く、課題解決の参考にできるものになっている。各校での授業研究は、事前研修に模擬授業を取り入れたり事前事後研修時に授業改善に向けて活発に意見交換がなされたりと、研修が充実したものになっている。また、各校では、授業の中にペア学習やグループ学習を取り入れ、自分の意見や考えを伝えるとともに相手の意見や考えを聞く機会を設ける等して、伝え合う活動を意識した授業づくりを行っている。また、西牟婁教育支援事務所や教育センター学びの丘の指導主事を講師として招聘し、授業改善に向けて研修を行う学校もあった。</p> <p>○ 授業の導入段階での課題の提示場面や図やグラフ提示の場面等だけでなく、児童生徒のノートや成果物の提示の場面等で、ICTの活用が進み、授業改善が進んでいる。また、個別指導や少人数指導、ティームティーチング指導や習熟度別指導等、各校の児童生徒の実態に応じた指導が実施された。</p> <p>○ 全国学力・学習状況調査の白浜町の結果は、以下の通りである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>小学校</th> <th>国語</th> <th>算数</th> <th></th> <th>中学校</th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>英語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白浜町</td> <td>66.0</td> <td>68.0</td> <td></td> <td>白浜町</td> <td>69.0</td> <td>56.0</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>和歌山県</td> <td>64.0</td> <td>66.0</td> <td></td> <td>和歌山県</td> <td>70.0</td> <td>59.0</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>63.8</td> <td>66.6</td> <td></td> <td>全国</td> <td>72.8</td> <td>59.8</td> <td>56.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">小中学校とも学校によってばらつきはあるが、小学校では、国語、算数とも全国平均</p>	小学校	国語	算数		中学校	国語	数学	英語	白浜町	66.0	68.0		白浜町	69.0	56.0	50.0	和歌山県	64.0	66.0		和歌山県	70.0	59.0	55.0	全国	63.8	66.6		全国	72.8	59.8	56.0	B
小学校	国語	算数		中学校	国語	数学	英語																										
白浜町	66.0	68.0		白浜町	69.0	56.0	50.0																										
和歌山県	64.0	66.0		和歌山県	70.0	59.0	55.0																										
全国	63.8	66.6		全国	72.8	59.8	56.0																										



を上回っているが、中学校は、国語、数学、英語とも全国平均を下回っており課題が残る結果となった。各校では自校の結果を基に学力向上プランを作成し、授業改善を図ったり補充学習を実施したりし、課題の改善に努めているが、分かる授業とともに学習内容の定着のためにさらなる授業改善が進むよう指導した。また、各校とも家庭学習の手引きを作成し家庭と連携しながら家庭学習の習慣化に取り組んでいるが、家庭学習の内容を自分で考えたり予習や復習を計画的に行ったりするよう、継続して指導している。

- 学校図書館司書の配置により、学校図書館の環境づくりが進んでいる。そのことにより、学校図書館の利用や本の貸し出し冊数とも増えている。読書指導は、読書時間の設定、読み聞かせ、図書館ボランティアの活用、家読の推奨等、各校の実態にあった展開がなされている。本年度の図書主任者会は学校図書館の環境づくりに力を入れている日置小学校の図書室を会場にして行い、担当者等から話を聞いた。話を聞くだけでなく自分の目で見たことにより、各校の学校図書館の環境づくりの参考となった。今後も、情報センター・学習センター・読書センターとしての機能を果たせるような、学校図書館の運営方法についての研究と実践を進めていく。

### 3 人権教育の推進

すべての子どもの全面発達を図るため、「白浜町人権学習推進基本方針」に基づき、現状を正しく把握し、具体的な課題を明らかにし、追求し、具体的実践を通して人権意識の高揚を図る人権教育を推進する。

#### ○ 主な取組等

- (1) 自校の人権教育の現状と課題をおさえ、指導方針や目標を明確にし、全体計画、指導計画を作成し、学校教育の全領域を通して人権感覚を養い、実践力を高める。
- (2) 集団活動の場や自己決定の場を数多く設定し、肯定的評価を通して、児童生徒一人ひとりの特性・能力を尊重し、自尊感情の高揚を図る。
- (3) すべての学習やささまざまな体験活動（仲間と遊ぶ体験、自然体験、働く体験、社会体験、福祉体験等）を通して、感性と実践力のある子どもを育てる。
- (4) 基本的な生活習慣や自律心（自分の感情をコントロールする力）、社会性を育成する取組を進める。
- (5) 互いに支え合い、認め合い、信頼し合える民主的な学級集団づくりに努め、人権に関わる問題を仲間とともに解決しようとする態度を育てる。解決が困難な場合は、身近な人や相談・救済機関等に相談できる力を身につけさせる。
- (6) 教職員の人権問題に関する知識・理解を深め、また、指導性を高めるため、積極的に研修に取り組む。特に、いじめ・不登校問題、児童虐待等については、適応指導教室（ふれあいルーム）及び関係機関との共通理解を図り、連携を密にしながら速やかに取り組む。
- (7) 各校・園における具体的な取組について、資料や実践の交流を積極的に行う。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 各校では、全体計画や指導計画を作成し、普段の学校生活はもちろんのこと、自尊感情の高揚を図る取組や自己決定させる場の設定を行ったり、実践力のある子どもを育成するために体験活動を積極的に取り入れたりする等、学校全体の教育活動の中で人権教育がなされている。児童生徒の自尊感情を高めたり集団づくりを通じた自治の力をつけたりする取組が更に充実したものになるよう、また、基本的な生活習慣が育成されるよう家庭との連携をさらに深めるよう指導していく。</p> <p>○ いじめ・不登校・児童虐待等については、児童生徒の人権問題であるという認識のもと、各校で繰り返し研修を行っている。いじめについては、普段の学校生活の中で教職員が常にアンテナを高くして取り組んでいるとともに、アンケートの実施や面談等により未然防止や早期発見に努めている。不登校に対しては、学校の取組はもちろんのこと、適応指導教室（ふれあいルーム）を中心に、心の教室相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携して取り組んでいる。白浜中学校区では、保育園・幼稚園・小学校・中学校が一貫した取組を進めてきた。取組については、町内保育園・幼稚園・小学校・中学校の教職員が一堂に会した研修会の中で報告した。連携して取り組むことで家庭環境等がより分かり取組が進み、不登校状態が改善された児童生徒もいた。しかし、依然不登校や不登校傾向の児童生徒は多く、就学前からの取組が必要であるので、今後も、連携した取り組みを進めていく。児童虐待については、適応指導教室（ふれあいルーム）や青少年センター、民生課、児童相談所、警察等の関係機関と連携して取り組んでいる。</p> <p>○ 基本的な生活習慣の定着に向けて、保護者の協力を求めながら、継続的な指導を行っている。また、各種問題への対応については、児童相談所、青少年センター、適応指導教室（ふれあいルーム）等との連携によるケース会議を開催し、課題解決に向けての取組が実施されているが、家庭支援の必要なケースがあり改善に至っていないケースもある。今後も各関係機関と連携を深め、課題解決に向けた取組を進めていく。</p>	A

#### 4 ふるさと教育の推進

郷土の自然・歴史や文化、施設や人材等を生かし、わがまち白浜を誇りに思えるふるさと教育を推進する。

##### ○ 主な取組等

- (1) ふるさとの文化や伝統行事の学習を通して、郷土への愛着を深める。
- (2) 豊かな自然を生かした体験学習を積極的に取り入れ、地域に貢献する態度を育む学習の実施に努める。
- (3) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化資産である史跡や古道を学習の場として積極的に活用する（熊野古道大辺路：富田坂・仏坂等）。
- (4) 南方熊楠、小山肆成、鈴木七右衛門等、ふるさとの先人について学ぶ機会を設ける。
- (5) 社会科副読本「白浜町ふるさと読本」、ふるさと教育副読本「わかやま何でも帳」の活用を図る。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 各校では、生活科総合的な学習の時間等において、地域の自然や歴史について学ぶ学習、地域の人材を活用して行う現地学習、熊野古道の学習、農業等の体験的な学習等、様々な地域学習や保護者や地域住民と一緒に地域美化活動が行われている。また、学習したことを保護者や地域住民に発表したりスマートフォンアプリを活用した語り部活動に取り組んだりする活動等により、地域を見つめなおし地域に貢献する態度が育まれている。</p> <p>○ 地域の祭礼等へ参加することにより地域の伝統・文化に対する興味や理解が深まった。世界遺産の文化資産である史跡や古道、ふるさとの先人についての学習は十分でないので、発達段階に応じて学習できるよう指導していく。</p> <p>○ 「白浜町ふるさと読本」を小学校3年生対象に配布し、社会科や総合的な学習の時間等で活用した。県教育委員会発行の地域教材「わかやま発見」「わかやま何でも帳」に関しては、各校で、社会科や総合的な学習の時間等で活用した。また、「わかやま何でも帳」等から問題が出題される、県教育委員会主催のわかやまふるさと検定に中学生が参加した。</p>	B

## 5 道徳教育の推進

豊かな心情や思いやりの心を培い、意欲と自信を持たせ、道徳性の涵養に努める道徳教育を推進する。

### ○ 主な取組等

- (1) 道徳教育推進教師を中心として、全教職員の共通理解のもとに、特別の教科 道徳の指導の充実を図るとともに、各教科・特別活動・総合的な学習の時間を効果的に関連させて、児童生徒に道徳的判断力・道徳的心情・道徳的实践意欲と態度を培う取組を進める。
- (2) 心豊かで潤いのある学校づくりに取り組み、子どもとともに美しい学校、思いやりのある学校・学級づくりに努める。
- (3) 集団宿泊活動、職場体験学習、ボランティア活動等の様々な体験学習を積極的に取り入れ、道徳性の育成を図る。
- (4) 豊かな人間性と道徳性を育むために、読書活動の充実を図る。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 小学校では昨年度、中学校では本年度より特別の教科 道徳が本格実施となり、各校では年間指導計画に沿って授業を実施している。小・中学校とも、授業研修を繰り返し、実践を積み上げている。昨年度から2年間、和歌山県教育委員会から『道徳教育の抜本的改善・支援事業』の指定を受け、白浜第一小学校・白浜中学校で研究を進めてきた。研究には、当該校だけでなく、各学校での指導を充実させるために、他の学校も研究授業等に参加し、導入や展開の仕方等について研修を深めてきたので、本研究を町内の小中学校に広めることができ、各校の授業力の向上につながった。</p> <p>○ 児童会活動や生徒会活動、運動会や文化祭等の活動、キャンプや修学旅行の宿泊体験活動、職場体験学習、地域清掃等のボランティア活動等、様々な体験学習や集団活動が</p>	A

<p>充実したものになっており、活動を通して、規範意識の高まりや自治の力が育てられて、その後の学校教育活動の中で生かされている。</p> <p>○ 各校において、読書を教育課程に位置付けることが定着し、読書の時間の設定、読み聞かせ、図書ボランティアの活用、家読の推奨等、読書活動の充実が図られている。</p>	
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 6 健康・安全教育の推進

<p>心身の調和のとれた子どもを育成するため、教育活動のあらゆる領域を通して、たくましい心と体を育てる健康・安全教育を推進する。</p>
----------------------------------------------------------------------

### ○ 主な取組等

- (1) 体育の授業の充実を図り、児童生徒の体力の増進に努めるとともに、体を動かすことの楽しさや鍛えることを通して、達成する喜びを体験させる。
- (2) 新体力テストを活用して児童生徒の課題を把握し、各校の体力アッププランに沿った体育の指導等を充実させ、体力増進と運動能力の向上を図る。
- (3) 児童生徒の心や体の状況を十分把握し、日常活動の中で適切な対応をするとともに、健康・安全についての正しい知識を身につけさせる。
- (4) 薬物、飲酒、喫煙等の害についての指導の充実を図る。
- (5) 性教育については、発達段階に応じた指導計画を作成し、教職員の共通理解の下、計画的に取り組む。また、実践交流等により課題の整理を図る。
- (6) 児童生徒に望ましい食習慣を身につけさせるため、保護者にも呼びかけながら「食に関する指導」の充実を図る。
- (7) 校内の安全については、安全点検の実施と日常の取組を強化するとともに、交通安全教室、防犯教室、防災訓練等を計画的に進め、事故防止の徹底を図る。
- (8) 地震・津波、防犯等の危機管理マニュアルに基づき、迅速かつ組織的な対応を図る。
- (9) 関係機関・団体等と連携を密にして、登下校等の安全対策を図る。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 各校が作成した体力アッププランを基に、自校の課題解決に向け取組を進めている。今後、体育の授業改善を図り、児童生徒の体力の増進に努めるよう、継続して指導していく。</p> <p>○ 薬物や飲酒、喫煙等の害についての指導は、保健の授業で行うだけでなく、児童生徒の発達段階に応じて、青少年センターや白浜警察署の外部機関と連携し、計画的に進めることができた。性教育については、保健の授業で行うだけでなく、各教科と関連させながら取組を進めた。また、外部講師による出前授業を取り入れ、発達段階に応じた指導を行った。食に関する指導については、教育課程に位置づけ、栄養教諭や栄養士が中心となり計画的に実施した。また、給食主任者会を2回実施し、食育の取組について交流・協議した。食育の推進のために、小学校1年生へのランチョンマットと中学校3年生への給食人気レシピ集を、食に関する指導を行った上で配布した。</p> <p>○ 校内の安全に関しては、安全点検の日を設定し点検を行うとともに、日頃から危険箇所があれば早期に対応するようにしている。また、学校安全計画や危機管理マニュアル</p>	A

<p>の見直しを図り、それらに基づいて交通安全教室、防犯教室、防災訓練を行った。また、県教育委員会作成の『防災教育指導の手引き』に沿って授業を行った。防災に関する指導や訓練を繰り返し行っていることで、自助・共助の意識が高まっている。</p> <p>○ 日々の地域安全見守り隊等の活動、教職員による登下校指導、2ヶ月に1回行われるセーフティネットの日の活動、青少年センターによる巡回等で登下校の安全が図られている。また、各校において、登下校の指導を継続的に行っている。</p>	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 7 環境教育の推進

<p>児童生徒が環境の保全・改善について主体的にはたらきかける態度や行動力を育てるための環境教育を推進する。</p>
------------------------------------------------------------

### ○ 主な取組等

- (1) 児童生徒に、学校や地域の環境に目を向けさせ、地域の環境美化やリサイクル活動、省エネルギーに対する取組など、身近な環境を大切にしている実践力をつけるよう努める。
- (2) 各教科、特別の教科 道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の関連を図り、環境教育の全体計画、指導計画を作成し、計画的な指導を進める。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 浜や地域の清掃活動、空き缶や牛乳パック回収等のリサイクル活動等、各校において身近な環境を大切にしている実践力を養う取り組みが行われている。その結果、地域の自然環境についての理解を深めるとともに、省エネルギーや環境を大切にしている意識を高めることができた。小学生のゴミ処理施設やし尿処理施設の見学、町環境フェアへの児童生徒のポスターや標語の出展等を通して、ゴミの減量化やリサイクルに対する意識を高めることができた。県環境生活総務課との連携で、小学校4年生から6年生を対象に「わかやまこどもエコチャレンジ事業」の取組を実施した。各家庭の中で、児童がエコ活動の率先者として取り組むことで、各家庭のエコに対する意識の向上にもつなげることができた。</p> <p>○ 各教科での、地球環境に対する科学的な認識や地球温暖化等の学習を通して、自然環境を大切にしようとする態度を育成することができた。各教科の関連等を意識した効果的な取組ができるよう、指導していく。</p>	B

## 8 情報教育の推進

<p>I C T（情報通信技術）の情報機器を活用する基礎的な能力を育成する情報教育を推進する。</p>
-----------------------------------------------------

### ○ 主な取組等

- (1) 教員一人ひとりが I C T 機器の操作能力や指導力を高め、積極的に授業で I C T 機器の活用を図る。
- (2) 児童生徒に I C T 機器の操作技術を身に付けさせるとともに、プログラミング的思考を育み、情報活用能力を育成する。

- (3) インターネットの利用にあたっては、お互いの人権の尊重や情報通信ネットワークの特性について理解させるなど、「情報モラル」を身につけさせて、情報化社会へ適切かつ積極的に参画していく態度を養う。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 各校において、ICT機器の操作方法や指導力を高める研修が行われており、ICTを活用した授業を進められている。小学校では総合的な学習の時間、中学校では技術家庭科の時間を中心に、ICT機器、情報通信ネットワーク等の情報手段を活用して主体的に対応できる資質や能力の育成を図るための取組が進められている。また、本年度から実施している「きのくにICT教育」では、児童生徒のプログラミング的思考を育むために、県教育委員会より提供された指導案やロボットを使いながら授業を行っている。また、県教育委員会が派遣している、プログラミング教育支援員を活用し、研修を行った学校もある。</p> <p>○ 情報モラルについての学習の促進のため、外部講師による出前授業の活用等により、保護者対象の研修や児童生徒対象の指導を計画的に実施できた。</p>	A

## 9 特別支援教育の推進

支援を要する児童生徒の課題を学校経営の柱にすえ、全教職員の連携による特別支援教育を推進する。

### ○ 主な取組等

- (1) 特別支援教育についての現職教育を一層進め、関係機関と連携を図りながら、さまざまな障がいに関する研修と実践に取り組む。
- (2) 校内における特別支援教育推進組織（校内委員会、特別支援教育コーディネーター）を活用し、支援を要する児童生徒の理解を深める。
- (3) 特別支援教育の視点に立った授業づくりに努める。
- (4) 通常の学級に在籍する発達障がいを含め、障がいのある児童生徒については、校内の支援体制の整備に努め、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画（つなぎ愛シート）」を作成し、障がいの特性に応じた効果的な指導を行う。
- (5) 児童生徒の実態、保護者の願いやニーズ等を把握し、適切な就学指導につなげる。
- (6) 特別支援教育について、地域の人々や保護者への啓発を図る。
- (7) 保・幼・小・中及び関係機関の連携を一層進め、就学指導の充実を図る。
- (8) 支援を要する児童生徒（園児）に応じた環境づくりを行う。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 就学指導に関しては、支援児保育担当者会議への参加や保育園・幼稚園の訪問により、対象児童と障がいの状況を正確に把握することに努めた。また、学校や関係機関と連携し、適切な就学指導について協議し、教育支援委員会につなげた。また、保護者との話し合いを持ち、個に応じた就学指導に努めた。今後も、早期からの教育相談・支援を行い、教育的ニーズと必要な支援について共通理解を深められるようにする。</p>	A

<p>○ 各校においては、校内就学委員会で対象児童生徒の早期の個に応じた支援の充実に努めた。また、特別支援学校と連携して、巡回相談を積極的に活用し、その中で得られた具体的な指導のポイントを日々の実践に生かすことができた。対象児童の「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画（つなぎ愛シート）」を作成し、個に応じた指導を適切に行うとともに、保育園・幼稚園、小学校、中学校間で情報をつなぐことができている。</p> <p>○ 町内の学校に特別支援教育支援員を21名配置して、個に応じた指導の充実に努めた。また、特別支援教育支援員対象の研修会を2回実施した。特別な支援が必要な児童生徒の理解と支援について具体的な場面を想定しながら研修するとともに、支援上の悩みを共有した。支援員のスキルアップにつながった。</p>	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 10 生徒指導の充実

<p>児童生徒一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高める生徒指導の充実を図る。</p>
--------------------------------------------------------------

### ○ 主な取組等

- (1) 児童生徒の実態を充分把握し、全教職員で生徒指導の方針を共通理解し、組織的かつ一貫した指導体制を確立する。
- (2) 白浜町いじめ防止基本方針及び各校いじめ防止基本方針に基づき、教職員の一致協力体制を確立し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に取り組む。
- (3) 配慮を要する児童生徒や不登校の児童生徒については、関係機関との連携を密にしながら、組織的な対応・支援を行う。
- (4) 仲間づくり、学級活動、生徒会（児童会）活動、異学年集団による活動等により、対人関係能力を育成する。
- (5) 地域・家庭と連携し、基本的生活習慣を育成する。
- (6) 教員と児童生徒相互のよりよい人間関係をつくる。
- (7) わかる授業が生徒指導の基本とおさえ、授業改善を行う。
- (8) 児童生徒の規範意識や社会性を育成し、自らの生き方やあり方について考え、公正に判断し、行動できる力を養う。
- (9) 携帯電話・インターネット等の問題については、保護者と協力して実態を把握し、マナーやモラルの向上と危険性を具体的にわかりやすく指導する。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 児童生徒の実態把握については、学校における日常生活の観察や、各種アンケート調査、面談等で得た情報をケース会議等により共通理解し、一致した取組をめざした。各校では「報告・連絡・相談」を大切にしながら組織的に取り組むとともに、小中の連携による情報の共有や歩調を合わせた取組も大切にしている。一昨年度より白浜中学校区で「不登校対策協議会」を立ち上げ、保育園・幼稚園・小学校・中学校が連携し、学校と保護者、地域や関係機関が手を結び、園・学校の教職員のスキル（授業力やアセスメント力）を向上させることで、中学校区全体の教育力と福祉を向上させる取組を進めて</p>	B

<p>いる。一貫した取組を進めることで、不登校の児童が登校できるようになった事例もあるが、今後も組織的な対応や支援を継続していく必要がある。また、本年度は本取組の経過を、白浜町教育研究会・白浜町人権教育研究会夏季合同研修会で発表した。本取組は、自校の課題に直結する学校も多く、課題解決の参考にできるものになった。</p> <p>○ いじめについては、各校において、アンケートの実施や面談等により、未然防止の取組が丁寧に進められている。今年度は小学校6校と中学校2校で発生した。学校が児童生徒や保護者と十分に対話しながら、学校全体で組織的に問題解決に向けて取り組んでいるので、解消率は100%である。校長会・教頭会で、いじめ防止対策推進法やいじめ問題対応ハンドブック、いじめ問題対応マニュアル等を用いて、児童生徒や保護者の思いを十分に汲み取り組織的に取り組むことの必要性を周知徹底した。</p> <p>○ 各校において、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関を活用して、児童生徒・保護者への相談活動を積極的に行い、組織的な支援体制をつくっている。また、学校の実態に応じて、コミュニケーションスキルの向上に向けた取組を行っているところもある。今後も、支援の必要な児童生徒や保護者に対して早期に対応できるよう、学校や関係機関と連携を密にして、取組を進めていく。</p> <p>○ 携帯電話・インターネット等の問題については、各校において、実態把握や啓発活動等が児童生徒・保護者に向けて取り組まれている。児童生徒の情報モラルの向上や各家庭でのルールづくりの啓発等、今後さらに進めていく。</p>	
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 1 1 進路指導・キャリア教育の充実

社会的・職業的自立をめざし、必要となる能力や態度の育成を発達段階に応じて、計画的、組織的、継続的に行う進路指導・キャリア教育の充実を図る。

### ○ 主な取組等

- (1) 中学校区単位で小中学校が連携し、児童生徒が進路を主体的に選択し、自己を実現する資質や能力を伸ばせるよう進路指導の充実を図る。
- (2) さまざまな職場や学校の訪問・見学・体験をさせる機会をつくるなど体験的な学習を充実させる。また、社会の各分野で活躍する人々を講師として招聘し、望ましい生き方や勤労観・職業観の形成を図る。
- (3) 障がいのある児童生徒の進路指導にあっては、障がいの状態や特性を十分把握し、家庭や関係機関との連携を十分に図り、適切に指導する。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 小学校では、地域の人材を活用しながら、様々な体験を通して自己の生活を振り返ったり、将来への展望や夢を持ったりする機会を設け、一人ひとりが社会の中でかけがえのない存在であることを指導している。中学校では、職場体験学習や各種の見学・体験指導の充実により、キャリア教育の推進・充実に努めた。また、職業体験学習を通じて得た成果等を、文化祭や総合的な学習の時間の発表会で発表するなど、地域や保護者にも発信している。進路指導を、自己を見つめ、自己の生き方を考え、将来を展望することを進路学習の重点と捉え、小中学校とも全教育活動を通じて学習を進めている。</p>	B



○ 今年度も、講師を招き、生徒が「先輩に学ぶ」機会を設けた中学校があった。将来に対する夢や現実の社会の厳しさ、真面目に努力することの尊さなどを学習することができ、望ましい人生観や職業観・労働観の形成に役立った。	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 1 2 幼児教育の充実

幼児期の子育ては、将来にわたる人間形成に重大な影響があり、成長の上で必ず達成しておくべき課題がある。そのため、遊びを大切にしながら楽しい集団活動の中で豊かな体験をさせるとともに、幼児期にふさわしい道徳性が芽生えるよう幼児教育の充実を図る。

### ○ 主な取組等

- (1) 幼児教育の位置づけを、将来を見通して具体的にとらえ、保・幼・小・中が連携し、一貫性のある取組を進める。
- (2) 幼稚園教育要領についての理解を深め、教育課程の編成と充実に取り組む。
- (3) 幼児期からの心の教育の大切さをおさえ、幼児期にふさわしい道徳性が芽生えるよう取り組む。
- (4) 支援が必要な園児については、家庭や小学校、関係機関との連携を図りながら、早期の相談活動に取り組む。
- (5) アプローチカリキュラムを作成し、円滑に小学校への接続が図れるよう、小学校と交流・連携する。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 入学前に小学校教職員の保育園・幼稚園見学や協議の場を設け、引き継ぎを行っている。また、入学後も保育園・幼稚園の職員に小学校の授業を参観してもらい、児童の様子等を交流し、指導の参考にしている。保育園・幼稚園から小学校への円滑な接続のために、保育園・幼稚園では「アプローチカリキュラム」を、小学校では「スタートカリキュラム」を作成し、指導に活用している。</p> <p>○ 保育園・幼稚園において、保護者との相談活動は丁寧に行われている。その上で、必要に応じて関係機関と連携し、保護者への支援の体制を整えているとともに、支援が必要な園児については、家庭や小学校、関係機関との連携を図りながら、早期に医療機関や相談機関につなげるよう取組が進められている。また、来年度の特別支援学校入学予定児・特別支援学級入級予定児については、個別の教育支援計画（つなぎ愛シート）を作成し支援の情報を共有した。</p>	A

### Ⅲ 主な施策

#### 1 学校施設の耐震化

大地震の発生が近い将来に予想される現下において、白浜町立小中学校の耐震化率は、平成31年4月1日現在で80.6%となっていた。これは、県内公立小中学校の平均を大きく下回っていることから、早急な対応が望まれており、計画的な耐震化を図るために「白浜町学校施設耐震化推進計画」を定めて取組を進めてきた。

令和元年度以降において、耐震化が必要な学校施設は、小学校3校（安宅小学校校舎・体育館、南白浜小学校体育館、日置小学校校舎）、中学校2校（富田中学校体育館、日置中学校校舎）の合計5施設で、現在、富田中学校屋内運動場改築等事業に着手しており、令和3年度中の事業完了を目指さず。安宅小学校、日置小学校、日置中学校については、本年度に耐震改修工事を完了した。また、南白浜小学校体育館については本年度、耐震改修設計を実施しており、令和2年度に工事を実施する予定です。

#### 2 白浜町立小・中学校空調機器設置工事

児童生徒の学習環境の改善を図ることを目的に、平成30年度に白浜町立小・中学校空調機器設置設計業務を行い、令和元年度に町内小中学校に空調機器の設置工事を実施した。

#### 3 児童生徒に対する健康検診の実施

学校保健安全法に則り、円滑に実施できた。

#### 4 小中学校に対する保護者負担軽減費の交付

5月1日現在の児童生徒数により、小学校1人当たり600円、中学校1人当たり1,000円を補助した。

#### 5 中学校に対する生徒活動助成金の交付

各校からの実施計画に基づき、必要に応じて生徒活動助成金（クラブ活動遠征費）を支給した。

#### 6 幼稚園における保育の実施

幼稚園教育要領に基づき円滑に実施できた。

なお、白浜第一幼稚園は2年保育、富田幼稚園は3年保育を実施している。

#### 7 白浜町教育研究会・白浜町人権教育研究会に対する研究活動助成

それぞれの団体に対して予算に基づく助成を行い、各団体では積極的な研究活動に取り組まれている。

#### 8 白浜町教育委員会指定事業

##### ○ 小中学校「共育コミュニティ推進事業」

平成23年度から町単独事業として実施しており、すべての小中学校区で取り組まれた。例えば、小学校では図書ボランティアの活動、中学校では職業体験学習における職場の開拓など積極

的に進め、地域とより結びついた学習が展開された。

○ 日置小学校・白浜中学校区（H30・R元指定）

日置小学校は算数科授業研究、白浜中学校区は不登校対策についての取組の研究を行っており、今年度、研究成果を発表した。

○ 安居小学校・三舞中学校（R元・R2指定）

安居小学校・三舞中学校は9年間を見通したふるさと学習についての取組の研究を行っており、来年度発表を予定している。

○ 町内全中学校「地域を元気にする職場体験学習」

平成20年度から和歌山県の事業として始まり、平成23年度より町の単独事業となり、「勤労観や職業観」の育成の一環として、3日間程度の職場体験学習を、白浜町内の各関係機関、事業所等の協力を得て中学2年生で実施している。

## 9 教育相談の充実

不登校等についての教育相談員（子育て相談ふれあいルーム）を配置して、各校・関係機関等とも連携を密にした対応を行った。また、富田中学校、白浜中学校に心の教室相談員を置き、生徒等の相談に対応した。

また、県費負担のスクールカウンセラー事業を活用し、白浜中学校、富田中学校、日置中学校、白浜第一小学校、白浜第二小学校にスクールカウンセラーを配置した。さらに、町独自の取組として南白浜小学校、北富田小学校に月1回スクールカウンセラーを派遣した。それぞれの学校で効果的に対応されている。

県費負担のスクールソーシャルワーカー1名の配置があり、ふれあいルーム等関係機関とケース会議を開催し、福祉的なアプローチを含めて支援できている。

## 10 学校開放地域交流事業

学校開放地域交流事業の一環として、1校当たり最高5万円を限度とした補助金を交付しており、各校においては、様々な地域交流活動が行われた。

## 11 学童保育の実施

学校が終わって家に帰っても、保護者が仕事でいない、家の商売が忙しくて親にかまってもらえないなど原則として小学校在学児童の健全育成を目的に、「放課後児童クラブ」（学童保育）を実施している。町内の学童保育所は、町直営として白浜第一小学校と白浜第二小学校の児童を対象に「白浜学童保育所」、北富田小学校の児童を対象に「北っ子学童クラブ」、富田小学校の児童を対象に「しおつ学童クラブ」、日置小学校と安宅小学校の児童を対象に「ガンバクラブ」の4か所があり、また、委託事業として西富田小学校と南白浜小学校の児童を対象に「西富田学童保育所」がある。

平成27年3月に策定された「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、施設の整備及び対象児童の受け入れ枠（高学年）の拡充を進め、町内5ヶ所の学童保育所で高学年までの受入れ及び施設整備が完了した。

## IV 指導活動

### 1 学校訪問

定例訪問……………年2回、各校の計画に基づき訪問計画を立てる。

『第1期訪問では、全校に教育委員及び指導主事が訪問し、年度当初の学校の様子・教育計画・学習状況について協議を行った。また、第2期訪問では、全校の現職教育に教育長・指導主事が参加し、授業改善についての話し合いを行った。』

要請訪問……………各校の要請に応じ、関係機関の協力を得て行う。

主として研究協議の場に参加する。

『必要に応じ、随時実施した。』

要件訪問……………特に要件のある場合、随時実施する。

『必要に応じ、随時実施した。』

### 2 研修活動

(1) 校長会（原則：毎月第1火曜日） 『本年度12回開催』

教頭会（原則：2ヶ月に1回第3火曜日） 『本年度6回開催』

学校運営上の諸問題についての意思統一及び研究協議

(2) 学校・警察・青少年センター連絡協議会 『本年度7月と12月開催』

青少年センター・警察とともに、生徒指導上の問題解決や連携を図る。

(3) 給食調理員研修会 『本年度5回開催、給食調理に係る安全・衛生等についての研修を開催』  
(内1回は開催予定)

(4) 特別支援教育支援員研修会 『本年度2回開催、障がい児の理解と支援の仕方についての研修を開催』

(5) その他の主任会等 『教務主任会、音楽主任会、保健主事会、給食主任会、生徒指導関係者会議等を開催』

(6) 新規採用教員研修 『授業研修等を開催』

(7) 教育委員会主催の教職員研修 『不祥事防止研修を開催』

# 白浜町の社会教育

## I 方針

社会教育においては、すべての人々が、あらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら實際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成させ、自らの関心や意欲に応じて「いつでも、どこでも、だれでも」が学べるように支援することが求められている。

そのため、人々の学習機会の充実を通して、積極的な参加意欲の向上を図るとともに、学習の成果が適切に評価・活用されるよう地域や学校との連携を深めながら、学習環境の整備を図る。

〈社会教育方針〉

- 基本的人権の尊重を基本として、民主的な地域社会の実現をめざす人間の育成に努める。
- 一人ひとりが生涯の各時期に応じて、自主的に学習し、自らの能力を高め、主体的な生き方を創造する人間の育成に努める。
- 住民相互の連帯意識を高め、地域の自然と文化を愛し、豊かな生活づくり、うるおいのある地域づくりに取り組む人間の育成に努める。

## II 重点目標

社会教育は、町民の幸せと地域社会の発展を図るため、白浜町長期総合計画、生涯学習基本方針、社会教育方針の下に、次の重点目標を掲げて取り組んだ。

### 1 家庭教育の推進

健やかな子どもの成長と地域のつながりを大切にした家庭教育を推進する。

#### ○ テーマ

「家族の対話と思いやりで明るい家庭を」

#### ○ 主な取組等

- (1) 保護者会・育友会等の活動と連携して、それらの活動の促進を図る。
- (2) 社会に対応できる資質や能力を身につけ、地域の諸活動に参加しやすい環境づくりや、地域住民のつながりを深める活動に取り組む。
- (3) 関係機関・団体等と連携して、乳幼児期や子育てのニーズに対応した各種事業に取り組む。
- (4) 幼児教育や子育ての悩みに対応する相談活動を実施する。
- (5) 家庭教育支援に取り組む人材の育成を図る。

今年度の取組状況等	評価
○ 核家族化、少子化、過疎化など家族環境が変化する中、日置川地域では家庭と地域の関係などについて学習する、家庭学級2学級（日置・市鹿野地区）を、年間を通して開催した。実施内容は、健康講座、料理教室など実生活に関連するものや、音楽講座、防災講演会、地域の清掃など毎回テーマを変えながら取り組んだ。	B

<p>地域子育て支援拠点事業（町民生課）として、白浜幼稚園、とんだ幼稚園、日置保育園に拠点を置き、園開放や広場を通じて、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図り、全ての家庭を地域で支える取り組みを行っている。</p> <p>○ 子育て支援施策として、町民生課がNPO法人南紀こどもステーションにファミリーサポートセンター事業を委託し、子育て支援セミナーを開催している。</p>	
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 2 青少年教育の推進

<p>家庭、学校、地域、関係機関・団体との連携を図りながら、心豊かにたくましく生きる力を育む青少年教育を推進する。</p>
---------------------------------------------------------------

○ テーマ

「地域ぐるみで子育てを」

○ 主な取組等

- (1) 子どもたちが、命を大切に、やさしさやたくましさを身につけられるよう、豊かな生活・自然・社会を体験できる活動機会を提供するとともに、安心・安全な子どもの居場所づくりをめざす。
- (2) 青少年育成町民会議、育友会等の自主的な活動を促進し、連携を図りながら、地域とのつながりを深める。
- (3) 地域活動連絡協議会（親子クラブ等）活動の育成を図り、自主的な地域活動（子育てネットワークづくり）を進める。
- (4) 学校（園）・育友会・地域活動連絡協議会等と連携し、地域ぐるみの子育てを進める。
- (5) 関係機関・団体と連携して、文化・スポーツ活動の事業や啓発活動に取り組み、地域ぐるみの健全育成を図る。
- (6) 指導者の資質を高めるため、研修の機会を拡充する。
- (7) スポーツクラブ等と連携し、団体での活動や交流の楽しさを知ってもらう取組を進める。
- (8) ボランティアの育成を図る。
- (9) 国際社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 児童館事業において、自然の中で家族がふれあいながら作物栽培の楽しさや季節感を感じる機会づくりとして「わあいわあい農園」を実施した。ふるさとの自然に興味や関心を持ってもらうことを目的とした「自然観察教室」については、天候不良の為、中止した。</p> <p>○ 中学生が自由な発想で町に対して、意見発表や提言をすることで、行政や議会の仕組み等を知り、町政に興味を持つことを目的に「中学生議会」を青少年育成町民会議の主催で開催し、町内4中学校から8名の中学生議員が地域活性化、福祉・防災施策等の質問を行った。</p> <p>また、青少年育成町民会議の各地区協議会において、通学路や遊び場等における危険箇所の調査を行い、その結果をもとに、町へ改善要望書の提出を行った。</p>	A

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域活動連絡協議会と連携し、「親子クラブ交流会」や「ドッジボール交流会」、「クリスマス会」などを実施した。また、各単位親子クラブの行事への備品貸出等の協力を行った。</li> <li>○ 白浜町青少年海外派遣事業（大韓民国果川市）については、8月に実施予定であったが、今年度日韓関係の現状を踏まえ令和元年度も昨年度に引き続き事業を中止とした。</li> <li>○ 青少年育成協会等が主催する研修会に、関係機関・団体役員に呼びかけ、積極的な参加をいただいた。</li> <li>○ スポーツを通して、青少年の健全な心身の発達を図るため、野球、バレーボール、柔道等、少年少女スポーツクラブの育成に努めた。また、白浜中学校区を活動拠点としている総合型地域スポーツクラブ（しらはま温泉スポーツクラブ）に対しても、運営委員会への参画や各種スポーツ活動等への協力など支援を行った。</li> <li>○ 体全体を使った色々な遊びやスポーツを通して体感を鍛え、子供ロコモ対策と体力づくりを目的として、日置・安宅小学校の1～6年生を対象に、毎週木曜日の放課後を利用してスポーツ教室を実施した。</li> <li>○ 2月に開催される第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会の選考会を12月に開催し、約2カ月間の練習を重ね本番に臨んだ。持てる力を十分に発揮し、第16位の成績を残した。</li> </ul>	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

### 3 成人教育の推進

情報化・国際化・高齢化・余暇の多様化等、変化する社会に対応できる資質や能力を自ら高め、豊かな人間性を培い、地域の文化や福祉の向上をめざした地域活動への積極的な参加を促す成人教育を推進する。

#### ○ テーマ

「共に高め合い、心の通うふるさとづくりを」

#### ○ 主な取組等

- (1) 各種講座・教室等の開設、サークル活動への支援等を行い、自己学習・相互学習を進める。
- (2) 関係機関・団体と連携協力のもと気軽に参加できる事業等を実施し、共に学ぶ仲間づくりを促し、地域活性化をめざした取組を進める。
- (3) 社会状況の変化による住民ニーズの把握に努め、学習内容の充実を図る。
- (4) ボランティアの育成を図る。

今年度の取組状況等	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民館活動において、主要事業の一つである「婦人学級」を引き続き3学級（さざなみ、富田、椿）開設し、4月から翌年1月までさざなみ学級を7回、富田婦人学級及び椿婦人学級をそれぞれ8回開催した。また、「家庭学級」については、2学級（日置、市鹿野）を開設し日置家庭学級を9回、市鹿野家庭学級を7回開催した。内容は、学級生自らが毎月テーマを決めて学習を行い、健康講座、人権学習、音楽鑑賞、防災教室、寄せ植え、切り絵等の作品作り等を実施。また今年度は、3学級と日置の各家庭学級（2学級）との合同研修会を行なうなど、知識・教養・経験を深める活動につながっ</li> </ul>	A

<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民館サークルは中央・拠点公民館を合わせて10サークルあり、自主サークルがこれとは別に45サークル登録されている。サークル活動は、公民館の生涯学習活動の中では最も自主的・活動的であり、来館者数に占める割合は依然として高い状況にある。</li> <li>○ 事業への参加者は、定年後などで比較的時間に余裕のある高齢の方が多く、若年・中年世代の参加は少ない状況にある。</li> <li>○ 地域の方がそれぞれの学校において図書ボランティアや清掃活動等、多種多様な内容にわたって継続した取組が行われており、ボランティアの中心を担う女性や高齢者の学校支援、地域活動への積極的な参加の機会となっている。</li> </ul>	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

#### 4 高齢者教育の推進

高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高めることにより、積極的に社会参加や役割を担い、健康で生きがいのある生活を高める高齢者教育を推進する。

○ テーマ

「健康で生きがいのある生活を」

○ 主な取組等

- (1) 老人クラブ連合会や地域老人クラブと連携し、その学習活動を進める。
- (2) 高齢者の学習ニーズに対応した教室・学級等を開設し、自己学習・相互学習を進め、学習意欲向上に努める。
- (3) 社会福祉協議会などの関係機関・団体と日常的な連携を図りながら、高齢者の健康増進や世代間・地域内の交流を支援する。
- (4) 高齢者の社会活動への自主的な参加を支援するとともに、ボランティア活動を進める。

今年度の取組状況等	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の人権、健康、教養など老人クラブと連携した高齢者教室・学級（白浜老人大学7回・富田地域老人学級8回）を開催し、健康講座、地域包括ケア、交通安全教室、特殊詐欺被害の現状と対策についての話など、毎回テーマを変えて学習を深めた。また、分館事業（学社融合など）において地域の高齢者にも参加いただき、子供たちとグラウンドゴルフや木工細工、しめ縄づくりなどを行うことで地域住民や子供たちと3世代が交流する事業を実施した。</li> <li>○ 第31回中央公民館ゲートボール大会を開催し、老人クラブなど参加チーム相互の交流と親睦を図った。4チームの参加があった。</li> <li>○ 各地域において、学校開放事業や運動会などの学校行事、登下校の見守り隊などのボランティア活動等にも積極的に協力をいただいている。</li> </ul>	B



## 5 人権学習の推進

「白浜町人権学習推進基本方針」に沿って、町民一人ひとりが自分や他人の人権を大切にし、将来にわたって人間らしく充実した生き方のできる豊かな社会を実現する人権学習を推進する。

### ○ テーマ

「人権・福祉・平和を基調とした豊かな地域づくり、まちづくりを進める」  
～お互いの人権を尊重し合う学習活動に参加しよう～

### ○ 主な取組等

- (1) 現代社会における人間関係の希薄化や地域課題、情報ツール(インターネット等)の多様化による新たな問題に対応できるよう、あらゆる立場の人たちが交流し、学び合える学習機会の拡充を図る。
- (2) 子ども、女性、高齢者、障がい者等、社会的に弱い立場の人たちの人権を正しく理解し、共に支え助け合う体制づくりに努める。
- (3) 学校・家庭・地域・社会教育関係機関・社会福祉関係機関等と連携を図り、互いの教育力を生かし高め合う活動の充実を図る。
- (4) 人権学習の目的達成のため、学習条件の整備と拡充を図る。
- (5) 人権学習を推進する人材の育成に努める。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 白浜町人権学習推進基本方針に基づき、町民の自主性、主体性を大切にしつつ、家庭・学校・地域・団体と連携した学習活動が円滑に進むよう体制づくりに努め、各種団体及び各分館において学習活動に取り組んだ。また、活動を通じ、各分館運営委員らの人権学習への認識が深まった。</p> <p>○ 町内の女性団体(21団体)で組織する「人権のまちづくり女性連絡会」は、活発な活動を実施しており、7月に人権に関するビデオ研修会、10月には「今、この地域に取り戻したいもの」という演題で人権委員会との合同研修会を開催、12月には田辺市龍神村において、太平洋戦争中に龍神村に墜落したB29とその遺族、村人との交流を描いた映画『轟音』の鑑賞や慰霊碑の見学を行った。今後は女性会独自の取組も検討しています。</p> <p>○ 全町的な学習の場として、町、議会、人権委員会及び教育委員会の四者共催により「人権を大切にする地域づくり講演会」を開催し、全町民に人権学習の機会を提供している。今年度は、10月に一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長の島田妙子氏を講師に迎え、「子どもたちの笑顔を守るために私たちにできること」という演題で講演会を開催した。また、来年度以降の講演会をより良きものとしていくためアンケート調査も実施した。</p> <p>○ 町内全小学校において、在籍する児童の保護者を対象として、保護者学級を開設し、女性、子ども、高齢者、障がい者などのあらゆる人権に関わる問題についての学習会を年間6時間以上実施した。</p> <p style="padding-left: 2em;">取組の例として、アドベンチャーワールド獣医師や助産師による命の大切さを学ぶ講話や、スマホ・ケータイによる人権侵害の危険性を学ぶ講話のほか、福祉に関する講話</p>	A

<p>や体験を通して人権尊重の意識を高めた。</p> <p>○ 公民館事業において、婦人学級では情報化、国際化、高齢化、余暇等の多様化する社会に対応できる資質や能力を自ら高める学習への取組を進めている。家庭学級では地域課題を通じた人権の大切さ、高齢者学級では、健康管理、教養、社会活動への参加意欲を高め、日々の生活の充実と生きがいづくりをめざす活動を実施している。これらの学習を続ける中で、日常生活に生じた小さな人権問題にも気付ける意識を持てるよう取組を継続している。</p> <p>○ 公民館各分館事業として、共通テーマに基づき、お互いの人権を尊重する心を養い、よりよい地域づくりを進めるため「3世代交流事業」「いのちの大切さ」「地域づくり」などの事業を継続して実施している。</p>	
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 6 生涯スポーツ活動の推進

<p>町民の生活の中に、体育・スポーツ活動を定着させ、健康の増進と体力の向上を図るとともに、楽しいコミュニティの場を形成する生涯スポーツ活動を推進する。</p>
----------------------------------------------------------------------------------

### ○ テーマ

「みんなで健康づくり、体力づくりを」

### ○ 主な取組等

- (1) スポーツ推進委員の指導助言を得ながら、それぞれのライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。
- (2) 体育協会、スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブとの連携を密にし、町民のスポーツ参画人口の拡充を図る。
- (3) 誰もが気軽にスポーツに親しむことができる場として、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。
- (4) 指導者の育成と資質向上を図るため、関係機関・団体等と連携し、研修や講座を開設する。
- (5) 健康づくり・体力づくり・人づくり・仲間づくりの拠点となる体育館やグラウンドなどスポーツ施設の整備と充実を図る。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 健康づくりの一環として、楽しみながら健康維持・増進と体力向上をめざした取組を進めており、サークル活動など、関係機関・団体と連携を図りながら社会体育活動を推進している。</p> <p>○ スポーツ活動の現場で、適切に指導・助言できるスポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を目的として「スポーツ指導者研修会」を開催した。今年度は、「応急手当講習」をテーマに、白浜町消防本部職員による講演を行い、多くの町内社会体育関係団体や少年少女スポーツクラブ等の指導者、スポーツ推進委員、教職員に参加いただいた。</p> <p>○ 町民の健康増進と体力向上を図り、より一層のスポーツの推進をめざして、「スポーツ推進委員派遣事業」を実施した、また、スポーツ推進委員協議会主催のキンボール交流大会を実施し、町内の小学生と保護者らが約15名参加した。</p> <p>○ 住民の交流と健康増進を促進するため、日置川地域体育振興協議会主催で、8月には</p>	A

<p>野球、ソフトバレーボール大会を、12月には日置川地域の小学校マラソン大会、秋季スポーツ大会（ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ）をそれぞれ開催した。</p> <p>○ 10月に町民体育大会を開催し、町体育協会に加盟する各競技団体による14種目の競技に多数のチームの参加を得た。また、1月に体育協会主催の第14回町民駅伝大会を開催し、スポーツに親しむ機会と住民交流の場となった。</p> <p>○ 11月に第29回南紀日置川リバーサイドマラソン大会が開催された。好天に恵まれ、町内外から801名の参加を得ることができた。</p> <p>○ 体育協会主催による子どもから大人まで誰もが気軽に複数の種目のスポーツを体験できるスポーツ体験会を12月に開催し、約100名の参加を得ることができた。</p>	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 7 文化財保護と芸術文化活動の推進

先人たちの築き上げてきた文化遺産の愛護精神を広め、町民の文化意識の高揚と資質の向上を図るとともに、豊かな文化を創造するため、文化財の保護と芸術文化活動を推進する。

### ○ テーマ

「郷土を愛し、みんなで豊かな文化の創造を」

### ○ 主な取組等

- (1) 文化財保護審議会委員の指導助言を得ながら、文化財の保護に努めるとともに、機会を通じ啓発を図る。
- (2) 先人たちの業績や郷土の歴史を学ぶ講演会・シンポジウムや文化財啓発資料を活用した学習活動を展開する。
- (3) 次世代に継承すべき文化遺産について、各種機関と連携協力して調査・研究を進めるとともに、その保存・活用を図る。
- (4) 自然や文化を守り親しむ活動の発展を図る。
- (5) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産である「熊野参詣道大辺路富田坂・仏坂」の保全をするとともに、その活用を図る。
- (6) 美術展・講演会等の文化的事業を展開し、地域文化の充実と向上を図る。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 令和2年3月10日付で国史跡として指定された「史跡 安宅氏城館跡」について、再発見した魅力を広く公開することを目的に、パンフレットや展示資料集の作成、案内誘導看板の設置、城跡ウォークイベント（熊野水軍のさとウォークVol.1）を実施した。</p> <p>また、城跡ウォークイベント（熊野水軍のさとウォークVol.2）、史跡指定記念報告会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>○ 町内外の小中学生、一般の方々を対象として、地域の歴史を物語る様々な文化財を巡る現地学習を行った。</p> <p>○ 第57回和歌山県美術家協会展「第26回白浜展」を開催し、多くの方々に生の芸術作品をご覧いただき、文化の向上に努めた。また、開催期間中には町内小学生も鑑賞し、町美術家協会員が作品の解説を行った。開催期間中の来場者は1,175名であった。</p>	A

- 1月26日の文化財防火デーにあたり、町民及び文化財管理者の防災意識の高揚を目的として教育委員会・消防本部・町文化財保護審議会の共催により、今年度は、本覚寺（瀬戸）において、防火訓練（1月25日）を実施した。

## 8 共育コミュニティ活動の推進

住民同士のつながりを強め、地域の連帯感や教育力の高揚を図るため、学校と地域が協働し、相互の連携をより一層深められる共育コミュニティ活動を推進する。

### ○ テーマ

「輝く しらはまっ子 共に育てよう」

### ○ 主な取組等

- (1) 学校・家庭・地域のつながりを強化し、大人や子どもが共に学び、育ち合うことができる地域づくりをめざす。
- (2) 地域を多様なボランティア活動の場として充実させ、子どもの教育を支える広域的な拠点とする。
- (3) 地域住民が自らの経験や知識を教育活動に生かすことで、「地域の絆」を形成し、地域の教育力を向上させる。
- (4) 学校、家庭、地域が互いに理解し合い、協力し合う体制づくりに努める。

今年度の取組状況等	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校と地域の結びつきを強めることを目的に実施している「共育コミュニティ事業」が12年目を迎え、地域と学校が協働する体制づくりを進めている。読み聞かせや図書整理、学習指導やクラブ活動支援のほか、校内外の環境整備作業や、学校を拠点とした地域交流会など、多種多様な内容にわたって継続した取組が行われた。学校と住民が連携することで学校教育の充実や地域の活性化を図った。</li> <li>○ 各校の地域連携担当教員が地域共育コーディネーターとなり、町内全域で学校と地域が連携した様々な取組を実施することができた。</li> <li>○ 学校等を会場に誰もが自由に参加し、学校や子どものこと、子育てや地域のことについて気軽に語り合う場として「共育ミニ集会」を町内全域で実施した。学校、家庭、地域がそれぞれの立場から意見を交換し、相互理解を深めることで、地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まり、学校が地域コミュニティの中心となる開かれた学校づくりにつながった。</li> </ul>	A

## 9 公民館活動の充実

自己の充実・生活向上のため、自らが学習する意欲と能力を養う場、住民相互の交流の場となるよう、地域住民のニーズの把握に努め、生涯学習の機会と情報を提供できる公民館の運営と利用促進を図る。

### ○ 主な取組等

- (1) 生涯学習の視点に立った事業の企画・立案・運営を行う。
- (2) 町民の自主的な学習・文化活動を支援する。
- (3) サークル活動の育成と、各種講座（芸術鑑賞・歴史）、学級（婦人・家庭・高齢者）等を充実させる。
- (4) 関係機関・団体との連携を深めた事業（健康講座、歴史文化講座、防災教育等）を実施することにより、相互学習を充実させる。
- (5) コミュニティの形成の場として、いつでも、だれでも、気軽に利用できる運営を行い、利用向上に努める。
- (6) 地域における生涯学習の拠点とするため、分館活動の一層の充実を図る。
- (7) 分館を中心に学社連携・融合事業（学校地域連携事業など）を進める。

今年度の取組状況等	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中央公民館及び拠点公民館では、地域における生涯学習の拠点として自己学習、研鑽を深めるための各種事業を毎年度計画し、実施に努めている。 その中でも特に、婦人学級、家庭学級、高齢者教室は公民館の主要事業となっており、今年度も毎回様々なテーマを決めて、年間を通して継続的な学習活動を行った。</li> <li>○ 公民館サークルでは、趣味の向上と仲間づくりをめざし、サークル連絡協議会を中心に文化向上を図り、自主運営をめざした取組を行っている。公民館は、サークルの新設や生徒募集、活動支援を行い、住民の参加機会の確保と習熟に向けた取組を継続して行ったほか、今年度は「第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」を開催し、発表、展示、体験の機会を創出した。また、中央公民館において自主的にロビー展等を行った（着付け、写真展）。さらに、拠点公民館では、日置川農林業まつりと同時開催で、様々なサークルによる展示会・発表会を開催するとともに、茶道の体験も行った。</li> <li>○ 南方熊楠記念館主催事業に中央公民館は後援として事業に関わり「粘菌教室」、「昆虫教室」、「森林ジオウォーク」、「海岸林と磯探検」にそれぞれ参加した。</li> <li>○ 芸術文化に対する認識を深めていく取組として、町在住の芸術家による白浜町美術家協会展の開催や、白浜遊学講座「美術館へ行こう！フェルメール展」の鑑賞会を実施した。音楽鑑賞の機会として大阪芸術大学及び白浜温泉旅館協同組合との共催で「ウインターコンサート」の開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染症拡大を受けて中止となった。また、「博物館へ行こう」も拠点公民館において開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</li> <li>○ 分館活動においては、地域ごとに盆行事や夏祭り、学社融合事業（学校・地域交流事業）、講座開設事業などにおいて分館独自の内容を計画し、学校や地域住民と協力した生涯学習活動への取組が行われた。</li> </ul>	A

## 10 児童館活動の充実

「遊び・生活体験・自然体験・地域での豊かな体験」を通して、健やかで元気な子どもを育み、子どもたちの夢と願いを叶えることのできる児童館の運営を図る。

### ○ 主な取組等

- (1) 子どもにとって居心地の良い空間、安全で楽しい居場所として、いきいきと活動できるよう支援する。

- (2) 体験活動を中心とした事業の展開を図る。
- (3) 出前事業（出前じどうかん）を充実する。
- (4) 地域ぐるみの子育て支援事業を進める。
- (5) ボランティア・サポーターの育成とネットワークづくりを図る。
- (6) 地域活動連絡協議会（親子クラブ等）や青少年育成町民会議などの関係機関・団体との連携を図る。

今年度の取組状況等	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの活動拠点として、年間を通して各種事業（工作教室、スポーツ教室など）を実施した。</li> <li>○ 子どもの居場所づくりのため、児童館や小学校等で、土曜日等子ども教室推進事業（国庫補助事業）を実施した。</li> <li>○ 「わあいわあい農園」などの体験活動事業や、「白浜キッズクエストⅣ（神鍋高原自然探索教室）」を実施し、近畿で唯一、噴火口の残る火山である神鍋山でトレッキングの実施、「出石皿そば」のそば打ち体験を行なうなど、ここでしか味わうことのできない貴重な体験ができた。</li> <li>○ 児童館を利用しにくい遠方の子どもたちのために、出前児童館を開催。白浜・富田地域では「ケーキ作り」、日置川地域では「フルーツカッティング教室を行った。当事業においては、親子での参加が増え、親同士の交流の場にもなっている。</li> <li>○ 適応指導教室「ふれあいルーム」との連携を図り、不登校、ひきこもりなどの子どもへの支援を行った。また、とんだ幼児園の開園以来、園児のお迎えの際、児童館に寄って遊んでくれる園児が増加している。特に、幼稚園部の園児たちは、午後からの遊び場として、また、子どもをもつ親同士の交流の場となっている。</li> <li>○ 親子のふれあいや夢のある楽しい遊びの場となるよう、ひらま横丁や工作体験、鉄道はくぶつかん、さかなつりゲームに加え、白浜警察署、白浜消防本部の協力による「はしご車・パトカーの展示」なども行い、「第19回わあいわあい子どもまつり」を開催した。</li> <li>○ 中高生サポーター（18名登録）が「こどもの日だよ！じどうかん」「わあいわあい子どもまつり」「クリスマス会」等の企画・運営に積極的な取組をしてくれた。また、児童館ボランティアの方々にも、年間の大きな行事等に協力していただいた。</li> <li>○ 季節行事などにおいても、地域活動連絡協議会や青少年育成町民会議との連携を図り、「こどもの日だよ！じどうかん」「クリスマス会」などの行事を実施した。また、季節に応じて、児童館内外の飾り付けを行った。</li> </ul>	A

## 1.1 図書館活動の充実

町民に読書を普及し、生涯学習の拠りどころとして、必要な資料の収集と保存を行い、文化の向上につながる図書館の運営を図る。

### ○ 主な取組等

- (1) 町民の多様な生涯学習の要望に対応できる資料の充実を図り、情報提供を行う。
- (2) 関係機関・団体と連携し、各種事業（団体貸出し・おはなし玉手箱・お楽しみ会等）を行い、

町民の読書意欲の向上を図る。

(3) 本館と分室の連携を密にし、一層の充実を図る。

(4) 図書館の利用拡大を図りながら、新たな中央図書館の建設をめざす。

(5) 地域の文化的な拠点とするため、講演会・各種催しを行い、更なる読書活動の推進と町立図書館の利用促進を図る。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 図書館をよく知ってもらい、利用してもらうために各小中学校や保育園・幼稚園を通じて、行事や新着本案内のチラシを配布する等、図書館活動の啓発を図った。また、学校からの図書館（室）見学及び貸出の受け入れを行った。</p> <p>○ 「おはなし玉手箱」や「夏休み連続おはなしの日」など図書館行事を通して、子どもたちに本やおはなしの楽しさを知ってもらうため、図書ボランティア団体など地域の方々の協力を得ながら、絵本の読み聞かせや紙芝居などを行った。</p> <p>○ 「第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」や、児童館主催の「こどもの日行事」「わあいわあい子どもまつり」では【図書コーナー】を設け、図書の展示及び紹介、図書館の案内、おはなし会やペーパーバッグづくりを開催し、利用促進に努めた。また、しら・はぐフェスティバルではその他に雑誌のバックナンバーや図書の無料配布を行った。</p> <p>○ 図書館を利用しにくい遠方の方々や児童に読書の機会を少しでも多く持たせていただくため、北富田小学校と白浜第二小学校の児童に巡回貸出し、湯崎保育園や町の椿・安居・市鹿野出張所に図書を置いて、地域の方々へ貸出しを行っている。また、学童保育所にも図書を置き、学期ごとに入れ替えを行っている。</p> <p>○ 利用者のニーズに応え、予約・リクエストサービスの充実を図るとともに、町立図書館に所蔵していない図書は、和歌山県立紀南図書館や近隣の図書館から貸出しの協力を得て可能な限り利用者に提供している。</p> <p>○ 平成26年2月に策定された「白浜町立図書館整備基本構想」に基づいて、新たな中央図書館の建設をめざしていく。</p> <p>○ 図書館協議会では、図書館の利用促進のため「図書館通信No. 20」を「第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」「日置川農林業まつり」の開催時に配布した。</p> <p>○ 読書活動の推進と町立図書館の利用促進を図るため、以下の事業を実施した。</p> <p>①人権啓発事業「絵本作家 鈴木まもるさん 講演会」（6/30（日））開催          幼児18名、小学生21名、一般58名 計97名 参加</p> <p>②“読書 de ビンゴ！”（夏休み期間7/20～8/31）開催          ビンゴ用紙に記載されているジャンルの本やテーマの本（町立図書館所蔵の図書）を読み、ビンゴのマスを埋めていく。ビンゴ達成を目標に楽しみながら、いろいろな種類の本を読むきっかけを作り、読書の幅を広げることができた。          幼児44名、小学生126名、中学生6名 参加</p> <p>③「町立ミニミニ図書館」として、地域の皆様から寄贈いただいた本を中心に、閲覧、または本の持ち帰りや返却が自由な図書コーナーを設置している。          設置場所：白浜駅待合室、白浜はまゆう病院、椿園、住民交流センター</p>	<p>A</p>

## 1 2 青少年センター活動の充実

青少年の健全育成と非行防止を図るため、家庭、学校、地域、青少年育成委員会等の関係機関・団体と具体的に連携しながら、着実な取組を行う青少年センターの運営を推進する。

### ○ 主な取組等

- (1) 青少年の問題行動の早期発見と早期補導に努める。
- (2) 青少年や保護者の悩みを解消するため、相談活動や継続指導を充実する。
- (3) 青少年の健全育成と非行防止に対する関心を高め、理解と協力を得られるよう、広報啓発活動を推進する。
- (4) 青少年を非行から守るため、環境浄化活動を推進する。

今年度の取組状況等	評価
<p>○ 補導活動では、児童生徒の登下校時の見守りや、い集場所への巡回等の常時補導、花火大会、地域祭礼の夜間特別補導、高校生夕刻及び早朝駅前補導、高校生自転車通学下校指導等の合同補導を、各小中学校、高等学校、青少年育成委員会、白浜警察署等と連携しながら積極的に取り組んだ。12月末時点で街頭補導実施回数は139回、従事人数は延べ578名にのぼる。</p> <p>○ 相談活動では、カウンセリングマインドを生かしながら、招致した青少年との面接指導及び保護者との面接相談に努めるとともに、児童生徒の場合、その結果を学校へ報告し事後指導に生かしていただいた。また、青少年の立ち直りのため、継続的な面接指導にも力を入れた。さらに、児童相談所、ふれあいルーム等、他機関とも連携をし、虐待や不登校等の諸課題にも積極的に取り組んだ。12月末時点で招致及び継続面接指導の延べ人数は5名であり、保護者や学校、その他からの相談件数は39件である。</p> <p>○ 広報啓発活動では、犯罪から児童生徒を守ることや非行を事前に防止するため、主に保・幼・小・中を対象に防犯教室や喫煙防止教室、薬物乱用防止教室等を開催するとともに、「夏の子どもを守る運動」の広報・啓発ビラの街頭配布や、広報車による巡回活動を行い、事件・事故防止にも努めた。この他にも定期的に広報紙を発行した。また、今年度は育成委員会の活動を知らせる「育成委員会広報誌」も発行した。長期休業前には各校を通して児童生徒・保護者に各種啓発チラシを配布した。12月末時点で、各種啓発チラシ14,200部、センター日より1,530部を発行した。</p> <p>○ 環境浄化活動では、未成年者の喫煙防止や万引き防止のため、コンビニエンスストアやスーパーマーケット、タバコ小売店等に協力を要請した。</p> <p>また、子どもたちに急増するライン等のコミュニティサイトから生じる中傷やいじめ、有害サイトへのアクセスによる被害や自撮り被害、ネット依存症等に対応するため、ネット指導教員養成講座にセンター職員が参加し、研鑽を深めた。</p> <p>さらに、毎月第2火曜日の早朝、JR白浜駅・富田駅前において、青少年育成委員が高校生に施錠と駐輪マナーの向上を呼びかける啓発活動を行っている。</p> <p>○ 青少年育成委員会と連携し、各種団体の協賛を得て、家族の絆をテーマにした子ども絵画展を開催した。さらに、紀陽銀行、白浜はまゆう病院、日置川拠点公民館で最優秀賞及び優秀賞作品の特別展示をした。</p>	A



### 1 3 ふれあいルーム活動の充実

不登校等の子育てに関する問題の円滑な解決のため、家庭、学校、関係機関等と連携しながら適切に対応するふれあいルームの運営を図る。

#### ○ 主な取組等

- (1) 児童生徒の不登校等心理的諸問題について、保護者や教育現場からの相談に応じ、関係機関とともに園・学校・家庭を支援することにより、学校復帰及び社会復帰への援助を行う。
- (2) 児童生徒や保護者の悩みを解消するため、家庭、学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関等と連携しながら継続的な取組を行う。
- (3) 不登校児童生徒の心の居場所として、子どもたちを温かく迎え入れる。
- (4) 成就感・達成感をできるだけ多く体験させ、学校復帰のための適応指導を行う。

今年度の取組状況等	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内の不登校児童生徒への対応について、学校長、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、その他の関係機関と連携を密にしながら、保護者、学校、ふれあいルームの教育相談会や個別ケース会議を開くなどして、より良い方向に改善していくように取り組んでいる。</li> <li>○ 幼児、児童生徒の虐待等を未然に防止し、より健全な子育てができるよう、関係機関が連携し合い、情報を共有しながら組織的な取組となるように配慮しながら取組を進めている。</li> <li>○ 月1回保健センターの10ヶ月検診に出向き、「①一人で子育てしない。遠慮せず、助けてもらいながら子育てしよう。②読み聞かせや昔話をしあわせよう。」「③スマホに子守りをさせないで。」の3点を柱に講話を行い、啓発活動を行っている。</li> <li>○ 今年度も、不登校の児童生徒が来室しやすいよう、農作業体験、手芸体験、工作体験等、環境作りに努め、子どもたちに小さな成功体験や楽しい体験をできるだけ多く体験させてきた。</li> <li>○ ふれあいルームには教育相談員が1名のみ配置されているが、児童館長の配慮もあって、他の職員も来室した子どもたちをあたためかく見守り、相談員とともに運動等の協力・支援をしてくれている。このことは、来室する子どもたちにとって、学校や家庭以外の「あたたかい場所」として大切な役割を果たしていると思われる。</li> <li>○ 1学期から2学期末にかけて中学生6名、小学生2名、計8名の児童・生徒が来室し、そのうち3名は少しずつ登校できるようになってきている。現在も続けて来室している子どもは4名（中学生3名、小学生1名）。時々来室している子どもは2名（中学生1名、小学生1名）。</li> <li>○ 一昨年からは、学校職員や、民生児童委員、関係機関とともに意識的に児童生徒の家庭を訪問し、保護者や子どもとコミュニケーションを図ることで家庭状況の把握に努めており、年々訪問回数が増えてきている。</li> </ul>	A

### Ⅲ. 主な施策

#### ＜月別事業＞（開催日順）

- 1 白浜町美術家協会展（平成31年4月12日～14日開催）

白浜町美術家協会は白浜町の文化発展と、将来の白浜町美術展を開催することを目的に平成2年11月に町内の美術家・芸術家が集まって設立した団体で、協会員の作品展示を通して白浜町の文化向上に努めた。作品数は52点で、765名の来場があった。
- 2 こどもの日だよ！じどうかん（令和元年5月5日開催）

児童福祉週間の始まりである「こどもの日」を記念して、主役である子どもたちが、児童館を利用して楽しく自由に遊べる日にするため、平成15年度に始めた事業で、今回で第17回目の開催となった。地域、中高生サポーター、ボランティアの方々の協力も得て、毎年500名を超える参加者があり、児童館の柱となる事業の一つとして定着している。
- 3 白浜遊学講座「美術館へ行こう！」（令和元年5月9日開催）

大阪市立美術館で開催された「フェルメール展」の鑑賞会を実施し、参加者80人の参加があった。
- 4 和歌山県美術家協会展「白浜展」（令和元年6月5日～6月9日開催）

平成6年当時、和歌山市、串本町の2か所で開催されていたが、当町でも生の芸術・文化に触れる機会を作ろうと始めたもので、白浜展は、今年度で第26回目の開催となり、作品数は211点、町内外から1,175名の来場があった。
- 5 スポーツ指導者研修会（令和元年6月19日開催）

スポーツ活動の現場で、適切に指導・助言できるスポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を目的として「スポーツ指導者研修会」を開催した。町内社会体育関係団体や少年少女スポーツクラブ等の指導者、スポーツ推進委員、教職員等、60名が参加し、「応急手当講習」をテーマに、白浜町消防本部職員による講演を行った。
- 6 親子クラブ交流会（令和元年6月15日開催）

地域活動連絡協議会と児童館とが主催し、各地域クラブから161人の親子が集まり、町内テーマパークで親子クラブ対抗クイズ大会や園内散策を行った。
- 7 スポーツ推進委員派遣事業及びキンボール交流大会  
町民の健康増進と体力向上を図り、より一層のスポーツ推進をめざして、スポーツ推進委員派遣事業及びキンボール交流大会を実施した。
  - 6月10日 派遣事業 北富田小学校「フットサル」
  - 7月 8日 派遣事業 北富田小学校「キンボール」
  - 10月21日 派遣事業 北富田小学校「フットサル」

- 10月24日 派遣事業 日置小学校「キンボール」
- 12月6日 派遣事業 南白浜小学校「キンボール」
- 1月20日 派遣事業 北富田小学校「キンボール」
- 2月14日 派遣事業 南白浜小学校「ペタンク」
- 9月29日 キンボールスポーツ大会

8 熊野水軍のさとウォークVol. 1 城館と街道（令和元年6月22日）

国指定に向けた文化財保護について町民の気運醸成をはかるため、熊野古道大辺路街道草堂寺から要害山城跡を探索した。14名が参加した。

9 人権啓発事業「絵本作家 鈴木まもるさん 講演会」（令和元年6月30日開催）

「子どもの人権」を主題とした内容による講演会を行い、参加者の人権意識の向上と町立図書館の利用促進を図ることを目的に、絵本作家による講演会を開催している。「絵本と鳥の巣の不思議 ～鳥の巣が教えてくれること」と題し、絵本や鳥の巣、また子育てについて講演していただき、子どもから大人まで97名の参加があった。

10 自然観察教室（令和元年7月27日 天候不良により中止）

富田地域の対の浦海岸において、町内の小学4～6年生を対象に、講師先生を招き、海岸に生息する生物の話聞き、生物を採取、観察を行い、自然環境の大切さを学んでもらう予定であったが、台風の影響により中止とした。

11 白浜キッズクエストⅣ（神鍋高原自然探索）（令和元年7月31日～8月1日開催）

町内小学5・6年生を対象に、自然とのふれあいと仲間づくりを目的に開催した。

約2万5千年前に噴火したといわれている神鍋山をトレッキングし、噴火口や火山の断面を見たり、火山の石の軽さや、風穴の冷気を体感するなど、ここでしか味わうことのできない貴重な体験ができた。翌日は、「出石皿そば」のそば打ち体験を行った。今年度が第4回目の開催となり、町内の小学5、6年生18名、中学生サポーター2名の参加があった。

12 青少年海外派遣研修事業（大韓民国果川市）（本年度中止）

白浜町青少年海外派遣事業（大韓民国果川市）については、8月に実施予定であったが、日韓関係の現状を踏まえ令和元年度も昨年度に引き続き事業を中止とした。

13 中学生議会（令和元年8月28日開催）

中学生が自由な発想で町に対して、意見発表や提言をすることで、行政や議会の仕組み等を知り、町政に興味を持つことを目的に「中学生議会」を青少年育成町民会議の主催で開催した。

町内4中学校から8名の中学生議員が地域活性化、福祉・防災等の質問を行い、町議会同様に町長が答弁した。

14 町民体育大会（令和元年10月6日開催）

町体育協会が主催しているこの大会は、町体育協会に加盟する各競技団体による14種目の競技に約400名の参加を得て、日頃の成果を競い合うとともに住民相互の交流の場となった。

15 子ども絵画展（令和元年10月13日開催）

青少年育成委員会が主催しているこの絵画展は、夏休み中に家族への思いやりなどをテーマとした作品を描き、家族の大切さ、家族愛・絆などについて考える機会を提供しており、今回で第32回の開催となる。昨年に引き続き開催ポスターを作製し、開催当日には広報車で開催案内に努めた。2日間の開催を予定していたが、初日は台風の接近により開催を中止した。本年度の出品数は685点、来場者数は747人

16 みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル（令和元年10月19日～20日開催）

今年度で第4回目の開催となり、「さらなる文化と福祉の広がりをめざして」をテーマに様々な催しを開催した。2日間で約3,600人の来場があり大変賑った。

17 人権を大切にす地域づくり講演会（令和元年10月31日開催）

「みんなで考える同和問題講演会」から発展したもので、現在は、町、議会、人権委員会及び教育委員会の共催により開催している。

今年度は、一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長 島田妙子氏を講師に招き、「子どもたちの笑顔を守るために私たちにできること」という演題で講演をしていただいた。約350名の参加があった。

18 わあいわあい子どもまつり（令和元年11月2日開催）

平成12年4月に、それまでの「しらとり総合会館」が「町立児童館」としてスタートしたことを契機に、同月中に第1回児童館まつりを開催し、その後、開催時期を秋に変え、名称も新たに現在に至っている。今年度で19回目の開催となる。当日は晴天に恵まれたこともあり、1,000名を超える参加者と約130名のスタッフの協力を得て、おおいに盛り上がった。

19 南紀日置川リバーサイドマラソン大会（令和元年11月17日開催）

平成3年に旧日置川町の町おこしを目的として開催を始め、当初は、タレントなど知名度の高い人をゲストランナーに迎えていたが、現在は、全国各地からの参加者に景色の美しい日置川を知ってもらおうと、アットホームな雰囲気づくりを心がけながら開催している。

今回は第29回の開催となり、全国各地から801名の参加があった。

20 児童劇鑑賞会（令和元年11月20日～21日開催）

子どもたちが、文化や芸術に触れる機会づくりの一環として、町内の全小学生を対象に開催している行事（会場：西富田小学校・白浜第一小学校）で、今年度は、劇団風の子関西による「風の少年シナド」を鑑賞した。

21 クリスマス会（令和元年12月7日開催）

地域活動連絡協議会と児童館との共催により、クリスマスコンサートやサンタさんからのプレゼント、お楽しみ抽選会があり、親子46名の参加があった。

- 22 スポーツ体験会（令和元年12月20日開催）  
子どもから大人まで誰もが気軽に複数の種目のスポーツを体験できるスポーツ体験会を白浜町体育協会主催で開催した。
- 23 成人式（令和2年1月4日開催）  
白浜町の新成人の前途を祝福するために毎年開催しているもので、今年度の対象者は、男子126名、女子100名、計226名で、男子88名、女子74名、計162名の出席があった。
- 24 お正月遊び週間（令和2年1月7日～11日開催）  
児童館では、お正月遊び週間を設け、かるたとりやすごろく、羽子板などお正月の遊びコーナーを用意し、自由に遊びに来て、体験をしてもらった。
- 25 白浜町駅伝大会（令和2年1月12日開催）  
町体育協会の主催により、体力の向上とスポーツの振興を図ることを目的として開催しているもので、今回で合併後14回目の開催となった。
- 26 文化財防火デー（令和2年1月25日）  
1月26日の文化財防火デーにあたり、町民及び文化財管理者の防災意識の高揚を目的として教育委員会・消防本部・町文化財保護審議会の共催により、令和元年度は、本覚寺（瀬戸）において、防火訓練を実施した。
- 27 リーダー研修会（令和2年1月25日～26日 暖冬による雪不足の為、中止）  
町内の小学校5年生を対象に、研修・グループ活動を通して、学校や親子クラブにおけるリーダーとしての立場、役割を学ぶことを目的に実施しているもので、神鍋高原スキー場での研修を予定していたが、暖冬による雪不足のため中止した。
- 28 遊学講座「史跡を訪ねて！」（令和2年1月31日開催）  
鬼ヶ城（三重県熊野市）を訪れ歴史を学習した。
- 29 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会（令和2年2月16日開催）  
平成13年度から県内50市町村対抗として始まり、現在は、市町村合併が進んで29市町で行っており、今回で第19回の開催となる。  
今年度は、昨年12月7日の選考会の後、2カ月間、週2回の練習を積んで本番に臨み、持てる力を十分に発揮し、第16位の成績を残した。
- 30 博物館へ行こう（令和2年2月21日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）  
日本の歴史文化財を見学し見分を広めることを目的に開催しているもので、百舌鳥・古市古墳群、堺市博物館、自転車博物館へ行く予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

- 31 コンサート（令和2年2月22日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）  
白浜会館において、生演奏を間近で鑑賞できるコンサートとして、白浜中学校吹奏楽部の生徒の皆さんと、大阪芸術大学の学生の皆さんを迎えて、合同のウインターコンサートの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- 32 国史跡指定記念報告会（令和2年3月14日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）  
安宅氏城館跡の国史跡指定となったことを記念して報告会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- 33 青少年健全育成推進大会（令和2年3月10日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）  
青少年の健全育成事業の一環として、高校生による実践発表を白浜町青少年育成町民会議主催で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- 34 熊野水軍のさとウォーク Vol. 2 勝山城跡（令和2年3月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）  
国指定に向けた文化財保護について町民の気運醸成をはかるため、勝山城跡探索を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- 35 ふるさとを歩こう（令和2年3月21日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）  
志原海岸ジオサイトのウォーキングの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

## <通年事業>

- 1 生涯学習係  
スポーツ推進委員派遣事業（随時）
- 2 公民館  
婦人学級（4月から1月まで毎月1回）、白浜老人大学（4月から12月まで毎月1回）、富田地域老人学級（不定期）、家庭学級（年8回程度）、ロビー展
- 3 図書館  
おはなし玉手箱（毎週土曜日）
- 4 児童館  
わあいわあい農園（随時）、自然観察教室（年1回程度）、料理教室（不定期）、工作教室（毎月第2・4土曜日他）、スポーツ教室（月1回程度）、出前児童館（年6回程度）、スポーツ教室：日置（6月から3月まで毎週木曜日）
- 5 青少年センター  
各中学校区巡回（毎週3回）、夜間定期補導（毎月1回）

## IV 施設

### 社会教育関連施設

名称	所在地	規模 (㎡)	設立年月	備考
青少年研修センター	1-1	693.18	昭 61. 4	相談室・和室
町立総合体育館	29-3	4,967.3	昭 60.12	大小アリーナ
武道場	1094-5	198.55	昭 49. 5	畳 78 枚敷
展示館『しらすな』	1384-57	257.09	平 13. 7	
中央公民館	1130-9	1,017.5	昭 63. 4	集会室・図書室
図書館	1335-13	291	昭 52. 5	閲覧室
若もの広場	栄 50	11,000	昭 52. 7	夜間照明
中央公民館富田支館	栄 670-2	544	昭 63. 4	図書室
児童館	十九淵 226-12	793.64	昭 52. 6	
町立体育館	十九淵 226-13	1,144	昭 55. 5	
しらとりスポーツ広場	十九淵 151-10	18,189	昭 51.12	四角 200m×50m 長さ 300m 幅 50m～80m
白浜第一小学校	196		昭 52. 8	夜間照明 28.8 kw
白浜第二小学校	2330		昭 53. 8	夜間照明 16.8 kw
西富田小学校	才野 47		昭 53. 8	夜間照明 19.6 kw
田野井総合運動場	田野井 524		平 21.10	グラウンド 体育館
日置川拠点公民館	日置 980-1	2,503.03	昭 50. 6	研修室・図書室
町営プール (日置川地区)	日置 980-1	3,383.22	昭 41. 7	大プール 小プール
浜田教育集会所	日置 267	132.61	昭 56. 3	

## ちびっこ広場

名 称	所在地	遊 具	管理団体
小谷ちびっこ広場	3144-14	スベリ台・ジャングルジム	小谷町内会
東白浜ちびっこ広場	1055-1 1055-2 1055-8	スベリ台・ブランコ・ ジャングルジム・シーソー・ 鉄棒	東白浜親子クラブ
西越ちびっこ広場	堅田 2045	スベリ台・ブランコ・ シーソー・鉄棒	西越町内会
堅田東ちびっこ広場	堅田 459	スベリ台・ブランコ・鉄棒 ジャングルジム・シーソー	堅田東親子クラブ
才野ちびっこ広場	才野 698 才野 700-2	スベリ台・ブランコ・鉄棒	才野区
中 ちびっこ広場	中 256 中 257 中 258	ブランコ・ジャングルジム	中区
庄川ちびっこ広場	庄川 268	ブランコ・鉄棒・シーソー・ ジャングルジム・カバ置物	庄川区
伊勢谷ちびっこ広場	十九淵 421	スベリ台・ブランコ・ シーソー・鉄棒	十九淵区
富田ちびっこ広場	富田 832-2 富田 832-3 富田 832-6 富田 832-9	スベリ台・ブランコ・ ジャングルジム・シーソー・ 鉄棒	富田区



## 教育委員会の開催状況

教育委員会は、首長から独立した合議制の組織です。白浜町教育委員会では、令和元年度においては、これまで、臨時教育委員会3回、定例教育委員会を12回開催し、教育に係る様々な事項を審議・協議しました。

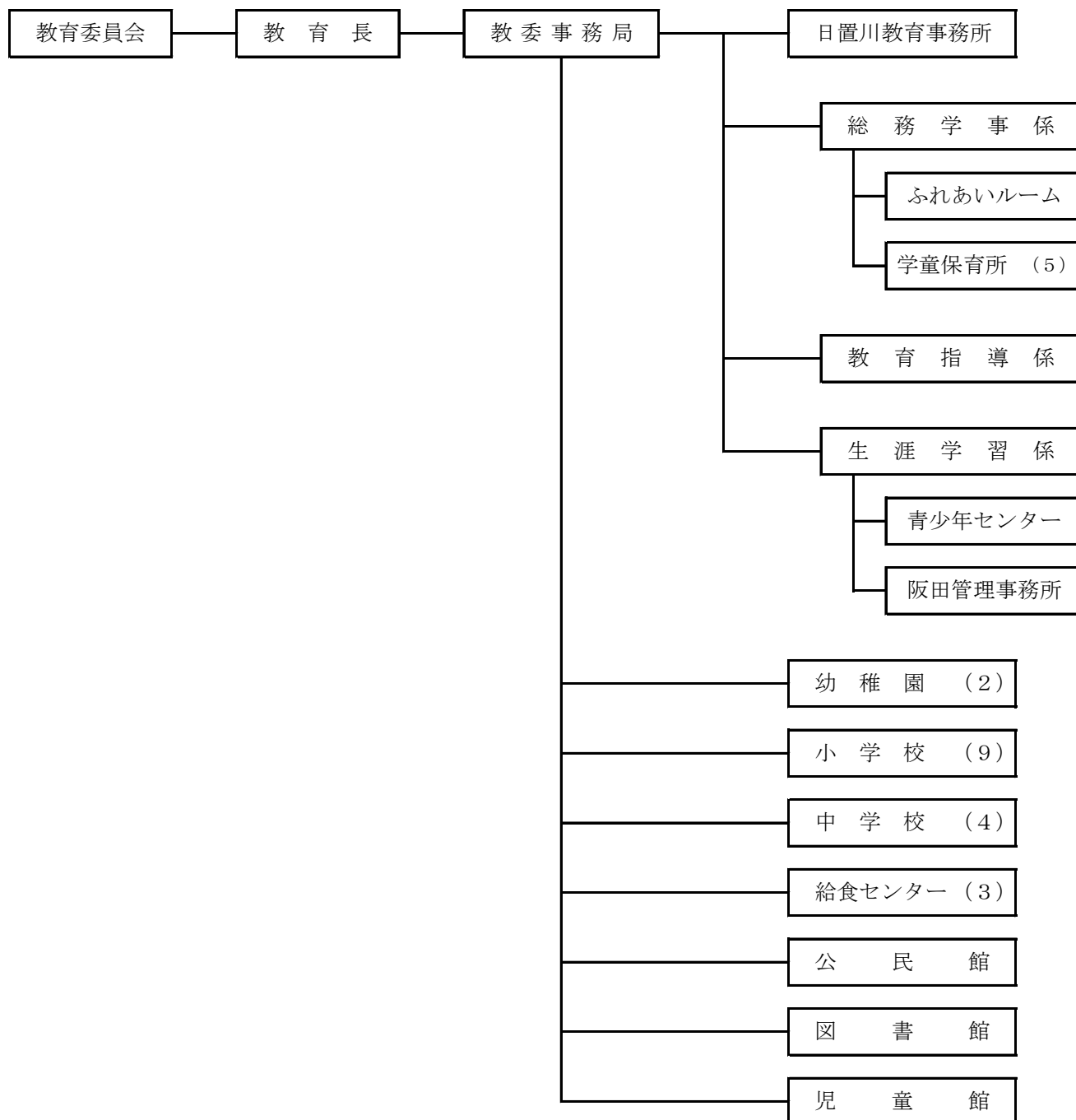
開催日	種別	議 題 等
平成31年 4月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第8号 平成31年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第9号 平成31年5月1日付け職員人事異動について</li> <li>・ 報告第1号 専決処分の報告について（白浜町立児童館運営委員の委嘱）</li> <li>・ 報告第2号 専決処分の報告について（白浜町立図書館協議会委員の委嘱）</li> <li>・ 5月定例教育委員会の日程について</li> </ul>
令和元年 5月19日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第10号 教職員人事に係る内申について</li> </ul>
令和元年 5月30日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第11号 令和元年度入学奨励金の認定について</li> <li>・ 議案第12号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第13号 令和元年6月1日付け職員人事異動について</li> <li>・ 報告第3号 専決処分の報告について（教職員人事について）</li> <li>・ 報告第4号 専決処分の報告について（令和元年度教育費補正予算について）</li> <li>・ 報告第5号 専決処分の報告について（白浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例）</li> <li>・ 報告第6号 専決処分の報告について（白浜町立学校施設使用条例等の一部を改正する条例）</li> <li>・ 平成31年度子供の読書活動優秀実践図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰受賞について</li> <li>・ 6月定例教育委員会の日程について</li> </ul>

開催日	種別	議 題 等
令和元年 6月27日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 1 4 号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第 1 5 号 令和元年 6 月 3 0 日付け職員人事異動について</li> <li>・ 議案第 1 6 号 令和元年 7 月 1 日付け職員人事異動について</li> <li>・ 議案第 1 7 号 白浜町教育委員会表彰規程に基づく感謝状の贈呈について</li> <li>・ 令和元年度白浜町議会第2回定例会一般質問について</li> <li>・ 白浜町小中学生スポーツ大会等出場費補助金制度について</li> <li>・ 7 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>
令和元年 7月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 1 8 号 令和元年度教育費補正予算について</li> <li>・ 議案第 1 9 号 白浜町教育振興補助金交付要綱の制定について</li> <li>・ 議案第 2 0 号 白浜町教育振興助成金交付規程を廃止する規程について</li> <li>・ 議案第 2 1 号 白浜町教育委員会表彰規程に基づく感謝状の贈呈について</li> <li>・ 報告第 7 号 専決処分の報告について（西牟婁地区教科用図書採択協議会での教科用図書の採択について）</li> <li>・ 令和元年度白浜町中学生議会の開催について</li> <li>・ 8 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>
令和元年 8月29日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 2 2 号 令和元年 9 月 3 0 日付け職員人事異動について</li> <li>・ 報告第 8 号 専決処分の報告について（令和元年 8 月 1 日付け職員人事異動について）</li> <li>・ 報告第 9 号 専決処分の報告について（令和元年度教育費補正予算について）</li> <li>・ 台風 1 0 号被害について</li> <li>・ 9 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>
令和元年 9月26日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 2 3 号 令和元年度要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第 2 4 号 白浜町教育委員会表彰規定に基づく感謝状の贈呈について</li> <li>・ 令和元年白浜町議会第 3 回令例会一般質問について</li> <li>・ 白浜町総合教育会議の招集について</li> <li>・ 令和元年度全国学力、学習状況調査の結果について</li> <li>・ 第 3 6 回国民文化祭・わかやま 2 0 2 1 第 2 1 回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会について</li> <li>・ 1 0 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>
令和元年10月17日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白浜町小中学校トイレの洋式化事業基本計画について</li> <li>・ 白浜町立南白浜小学校屋内運動場改修工事について</li> <li>・ 白浜町総合教育会議について</li> <li>・ 子どもの帰宅放送の中止について</li> <li>・ 1 1 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>

開催日	種別	議 題 等
令和元年11月21日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 2 5 号 令和元年入学奨励金の認定について</li> <li>・ 議案第 2 6 号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第 2 7 号 白浜町教育委員会事務局文書編さん保存規程の制定について</li> <li>・ 議案第 2 8 号 白浜町スポーツ広場条例施行規則の制定について</li> <li>・ 白浜町学校施設使用条例等の見直しについて</li> <li>・ 安宅氏城館跡の史跡新規指定に関する答申について</li> <li>・ 教育委員会事務局の人事について</li> <li>・ 1 2 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>
令和元年12月19日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 2 9 号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第 3 0 号 白浜町教育長に対する事務委任規則の一部改正について</li> <li>・ 議案第 3 1 号 白浜町立小中学校管理規程の一部改正について</li> <li>・ 議案第 3 2 号 白浜町学校教育活動における大会等出場費補助金交付要綱制定について</li> <li>・ 議案第 3 3 号 白浜町小中学生全国大会等出場推奨金交付要綱制定について</li> <li>・ 議案第 3 4 号 白浜町少年少女スポーツ・文化活動団体等教育施設使用要綱の制定について</li> <li>・ 議案第 3 5 号 白浜町スポーツ・文化活動団体等教育施設使用要綱の制定について</li> <li>・ 報告第 1 0 号 専決処分の報告について（令和元年度白浜町一般会計補正予算（第 3 号）に係る教育委員会の意見について）</li> <li>・ 報告第 1 1 号 専決処分の報告について（令和元年度白浜町一般会計補正予算（第 4 号）に係る教育委員会の意見について）</li> <li>・ 白浜町立学校施設使用条例等の見直しについて</li> <li>・ 令和 2 年度教育費当初予算要求について</li> <li>・ 第 1 9 回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会参加体制について</li> <li>・ 1 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>
令和 2 年 1 月 23 日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 1 号 白浜町入学就学奨励金補助要綱の一部を改正する要綱について</li> <li>・ 令和元年白浜町議会第4回定例会一般質問について</li> <li>・ 白浜町立学校施設使用条例等の見直しについて</li> <li>・ 2 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>

開催日	種別	議 題 等
令和 2年 2月27日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 2 号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第 3 号 教育委員の辞職の同意について</li> <li>・ 議案第 4 号 白浜町教育委員会事務局事務決裁規程の制定について</li> <li>・ 議案第 5 号 令和 2 年度白浜町の学校教育・社会教育の重点目標等の制定について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症関連肺炎に関する感染予防対策について</li> <li>・ 教職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずるべき措置に関する指針について</li> <li>・ 令和元年度教育費 3 月補正予算要求について</li> <li>・ 令和元年度白浜町スポーツ奨励賞について</li> <li>・ 白浜町立学校施設使用条例の見直しについて</li> <li>・ 白浜町の教育に関する大綱の見直しについて</li> <li>・ 3 月定例、臨時教育委員会の日程について</li> </ul>
令和 2年 3月 1日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告第 1 号 臨時代理の報告について（新型コロナウイルス感染症のための町内小学校及び中学校における一斉休業について）</li> </ul>
令和 2年 3月 5日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 6 号 教職員人事に係る内申について</li> </ul>
令和 2年 3月26日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 7 号 令和 2 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・ 議案第 8 号 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法に関する規則の制定について</li> <li>・ 議案第 9 号 史跡安宅氏城館跡保存活用計画策定委員会設置要綱の制定について</li> <li>・ 議案第 1 0 号 白浜町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について</li> <li>・ 報告第 2 号 臨時代理の報告（令和元年度白浜町一般会計補正予算（第 5 号）に係る意見について（回答））について</li> <li>・ 報告第 3 号 臨時代理の報告（令和 2 年度白浜町一般会計当初予算に係る意見について（回答））について</li> <li>・ 報告第 4 号 臨時代理の報告（令和 2 年 4 月 1 日付け職員人事異動について）</li> <li>・ 令和 2 年 4 月 1 日付け町内小中学校における教職員の人事異動について</li> <li>・ 4 月定例教育委員会の日程について</li> </ul>

## 白浜町教育委員会機構組織図



## 白浜町決算(教育関係)の状況

(単位:円)

区分	令和元年度	平成30年度	比較	増減の主な要因
一般会計総額	12,565,825,630	11,512,614,229	1,053,211,401	
款) 教育費	1,500,321,105	872,163,496	628,157,609	
項) 教育総務費	184,265,091	205,990,886	△ 21,725,795	
目) 教育委員会費	1,540,000	1,534,000	6,000	
事務局費	88,967,696	90,789,536	△ 1,821,840	職員人件費の減
日置川教育事務所費	26,118,916	22,956,605	3,162,311	工事請負費の増(空調設備改修)
教育指導費	41,394,507	40,138,175	1,256,332	委託料の増(運営委託)
スクールバス運行費	12,295,398	12,822,147	△ 526,749	委託料の減(送迎委託)
教育諸費	13,948,574	37,750,423	△ 23,801,849	役務費の減(PCB廃棄物処理手数料)
項) 小学校費	585,400,348	172,389,360	413,010,988	
目) 学校管理費	578,027,304	163,668,921	414,358,383	工事請負費の増(空調設備整備工事、日置小・安宅小耐震改修工事費)
教育振興費	7,373,044	8,720,439	△ 1,347,395	扶助費の減(要・準要保護就学援助費)
項) 中学校費	428,998,825	159,210,478	269,788,347	
目) 学校管理費	313,374,539	62,702,870	250,671,669	工事請負費の増(空調設備整備工事、日置中耐震改修工事費)
教育振興費	10,948,216	11,096,508	△ 148,292	扶助費の減(要・準要保護就学援助費)
富田中学校屋内運動場改築事業費	104,676,070	85,411,100	19,264,970	工事請負費の増(富田中屋体改築工事費)
項) 幼稚園費	25,436,425	25,960,865	△ 524,440	
目) 幼稚園費	25,436,425	25,960,865	△ 524,440	職員人件費の減
項) 社会教育費	192,137,869	217,845,329	△ 25,707,460	
目) 社会教育総務費	28,699,341	32,475,975	△ 3,776,634	職員人件費の減
文化財保護費	3,252,670	2,862,318	390,352	委託料の増(看板設置委託料)
公民館費	34,314,106	35,358,136	△ 1,044,030	職員人件費の減
図書館費	28,709,603	25,791,123	2,918,480	常勤嘱託報酬の増
児童館費	24,707,010	24,726,227	△ 19,217	職員人件費の減
学童保育所費	61,280,456	85,069,421	△ 23,788,965	工事請負費の減(しおつ学童建設工事費)
青少年対策費	2,161,061	2,466,105	△ 305,044	使用料の減(バス借上料)
青少年センター費	8,858,709	8,877,576	△ 18,867	備品購入費の減(プリンター購入)
展示館費	154,913	218,448	△ 63,535	需用費の減(修繕料)
項) 保健体育費	84,082,547	90,766,578	△ 6,684,031	
目) 保健体育総務費	8,671,999	7,311,010	1,360,989	委託料の増(聖火リレー警備)
体育施設費	24,066,679	25,162,831	△ 1,096,152	工事請負費の減(施設改修工事)
白浜給食センター費	32,768,565	35,702,111	△ 2,933,546	報酬・賃金の減(調理員人件費)
日置川給食センター費	18,575,304	22,590,626	△ 4,015,322	備品購入費の減(給食配送車)